

# 社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会 令和3年度事業報告

(実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

## 目 次

もくじ	P1
令和3年度事業概要	P2
① 総務係	P2
② 地域福祉係	P2
③ 相談支援係	P3
④ 障がい相談	P4
⑤ 介護支援係	P4
⑥ 訪問介護係	P5
⑦ 訪問看護係	P5
⑧ 通所介護係	P6
⑨ 地域包括	P6
第7次地域福祉推進計画 推進目標評価	P8
実績報告	
1 地域福祉事業	P10
2 ボランティア活動センター	P21
3 相談支援	P31
4 障がい相談支援事業	P35
5 権利擁護	P37
6 介護保険事業	P41
7 法人運営	P48
8 共同募金運動	P59

## 令和3年度事業概要

令和3年度が始まった4月23日から緊急事態宣言が発出され、その期間延長を繰り返しながら9月末までの半年間続くこととなりました。そして、年が明けて1月には第6波の影響により、再び感染者数が増加し、まん延防止等重点措置が講じられました。

このように、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、事業活動の継続が厳しい状況でありました。介護保険部門では利用者だけでなく、職員及び職員家族にも感染が広がるなど、サービス提供の人員確保や事業の休止を余儀なくされる事態が生じました。それに伴い、介護保険収益の減少等経営にも影響が出ました。

相談支援部門では、「生活福祉資金特例貸付」の期間延長や他の経済的な支援策が終了する中で、相談件数はやや減少しましたが、貸付後の世帯の自立のために生活困窮者自立相談支援による対応の中で、償還の相談を含めて取り組んでいく必要があります。そして、高齢者、障がい者の分野では、外出制限により家族と自宅で過ごす時間が増えたことから、世帯内での虐待等が多く、その対応に追われる状況にありました。

地域福祉部門では、新型コロナウイルス感染症の第5波、第6波で緊急事態宣言等が発出される中でも、新しい生活様式や活動の規模を縮小するなどの対応やワクチン接種が進んだことにより、地域住民とともに活動を開催する動きが見られました。

法人運営では、平成29年度から5か年の第7次地域福祉推進計画が令和3年度で終了することから、第8次地域福祉推進計画策定委員会を設置し、策定作業に取り組みました。この中で、同時並行で、令和4年度から芦屋市で本格実施される「重層的支援体制整備事業」の準備に向けた社協内の協議にも取り組み、第8次計画において今後5か年で社協が重点的に取り組む項目に反映することといたしました。

令和2年度、令和3年度のコロナ禍における事業・活動を振り返りながら、令和4年度からの新しい計画を実行していくために、その経験を活かせるよう報告として取りまとめました。

### ①総務係

総務係では、コロナ禍における働き方として、在宅勤務、直行直帰勤務、時差出勤等の各部署の特性に合わせた勤務体制を法人として整備しました。また、令和2年度は一部の部署のみで取り組んできた業務効率向上のためのICT化の取組についても、タブレットの導入、オンライン会議、クラウドサービスの導入など法人として整備し、定着させました。

令和3年4月から勤怠管理システムを導入したことにより、給与労務担当者の負担軽減及び各職場の労働時間の見える化に繋がりました。

人材育成については、令和2年1月に立ち上げた人財育成プロジェクトチームにおいて、職員研修体系を作成するために令和3年3月に職員アンケートを実施し、アンケート結果を集約、分析しました。令和4年度から実施する第8次地域福祉推進計画 アクション10（地域共生社会の実現をめざした地域福祉人材の育成・確保）において、引き続き取り組んでまいります。

### ②地域福祉係

地区福祉委員会活動は長引くコロナ禍の影響で、高齢者のつどいや生きがいデイサービスなどの事業の実施に制限がかかる中、令和2年度に引き続き高齢者訪問事業を、高齢者のつどいに参加できる人も対象に広げて助成金の支出を行いました。その他にも、日常の声かけなど「気かけあう」

活動を続けてきました。一部の地域では、会食をとまなわなない形での高齢者のつどいを開催し、「集まる」場も徐々に再開する動きがあります。

プラスワン福祉基金を活用した、多世代交流拠点の第1号として「プラスワン打出浜ブーケ」を大東町に開設いたしました。開所時間中は「いつでも、だれでも行ける居場所」として地域の運営委員が常駐しています。またハロウィンイベントや、落語会、精道高齢者生活支援センターなどの専門職の協力でミニ講座を開催し、地域での認知度も広がっています。

地域発信型ネットワークでは、令和2年度に住民向けに作成した「気づきのポイントチェックシート」の専門職向けのをプロジェクトチームで作成しました。

令和3年度より、生活支援体制整備事業の一層（全市域）、二層の一部（精道中学校区）を本係で実施することとなり、つどい場の立ち上げや継続支援、地区福祉委員会とのつながりづくりを行いました。また、事業のPRのために広報誌「あしもり」（全市）、「ええやん精道」（精道中学校区）を発行しました。

ボランティア活動センターにおいては、「園児・児童・生徒等福祉学習助成事業」を新設しました。市内の学校園・保育所へ案内をし、福祉学習の開催支援を充実させました。

認知症サポーター養成講座については、コロナ禍での開催の制限がかかる中、初めてオンラインでの開催を行いました。また、ステップアップ講座をボランティア活動につながる内容にして実施しました。

アクションプログラム推進協議会は、2年ぶりにアクションアワードを、広報チャンネル「あしやトライあぐる」で放送する形で実施しました。「わがまちベンチプロジェクト」において、茶屋之町に1台ベンチを設置しました。「あしや発信局玉手箱」については、令和2年度から開催しているスマホカフェを、地域を拡大して開催するとともに、一般市民向けのスマホ講座を開催しました。また、若者の意見を聞いたことをきっかけに、「落ち葉でやきいも」企画を実施しました。幼いころから多くの人と出会い「芦屋」を好きになってほしい、楽しみながら福祉にふれてほしいという思いから「この町がすきプロジェクト」を新たに立ち上げました。令和3年度は芦屋の歌である「この町がすき」の手話歌を、宮川幼稚園の協力で園児が歌う動画を撮影しました。

### ③相談支援係

総合相談窓口での相談は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きかった令和2年度よりは減少しましたが、引き続き高止まり傾向でした。ただし、緊急小口資金コロナ特例貸付をはじめとする貸付の相談では、新型コロナウイルス感染症の影響が直接的にあり収入が減少したとは考えにくい相談も増えており、それは全体的な傾向でした。

令和4年度以降も引き続き上記特例貸付が実施される見込みであり、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯の増加とその支援が必要となります。

生活困窮者自立相談支援では、社会的孤立・ひきこもり相談が増えました。新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛、在宅ワークなど、自宅にいる人が増加したことで問題が表面化したケースも増えたと予想されます。就労準備支援事業とのさらなる協働・連携が必要であり、孤立化している人への支援策として、様々な居場所や相談員との面談による社会性を取り戻す支援が必要となります。

権利擁護支援業務として、福祉サービス利用援助事業及び権利擁護支援センター業務を実施しています。いずれも相談件数は例年より多くなってきています。直接的に新型コロナウイルス感染症

の影響ではないものの、長期化する社会的影響と生活様式が変わってきていることで、精神的不安による相談が増えています。令和2年度に引き続き、介護サービス相談員派遣事業は、高齢者施設が面会禁止等の対応を取ったため、通常の訪問による事業実施ができなくなったため、オンラインを活用した利用者との面談に取り組みました。

コロナ禍において、今までは福祉分野とは無縁であった世帯が課題を抱える現状や、新たな課題、潜在化していた課題などが浮き彫りになりました。今後も、単体の支援窓口では対応できない課題を抱える世帯が増加することが予測されるため、令和4年度以降も福祉分野だけではない支援体制の構築が必要となります。令和3年度に重層的支援体制整備事業移行準備事業を実施する中で、従来のしくみを見直し、新たなしくみへと発展させていく必要があることがわかりました。各関係機関と協議を重ね、協働のしくみづくりが必要となります。

#### ④障がい相談

令和3年度は、コロナの影響が大きかった令和2年度に比べて、相談件数が大幅に増加しました。相談対応が増えましたが、支援者会議や専門職研修はオンラインの活用が可能となり、コロナ禍前よりも参加がしやすい環境にもなっています。

委託相談（基幹・一般）で意識したのは、「他（多）機関との協働」でした。近年、委託相談に求められる役割や相談件数が増加しているため、すでにマンパワー不足の状況となっています。そのため、委託相談が中心的に運営していた「（事業所説明会の）まるっと説明会」や「（計画）相談支援連絡会」、「（計画相談）マニュアルPT」「障がい疑似体験研修」などでは、実行委員会方式や有志、協力機関を募り、委託相談だけでなく、芦屋市内の相談員や事業所職員、団体の方々と協働して事業を継続していきました。そのことは、委託相談職員のマンパワー不足の解消の部分もありますが、多くの関係機関が加わることで、各々が我がごとになるだけでなく、内容に深み加わり、これまで以上のクオリティが高まったなどの効果が出ています。今後も他（多）機関と協働し、新たな課題にも取り組んでいきたいと考えています。

一方で計画相談においては、社協への新規相談件数が、令和2年度は47件だったのに対し、令和3年度は85件と2倍弱と増加しています。令和3年5月に育休明けで職員が復帰したことと、同じタイミングで計画相談員を増員したことで、急増した新規相談に対応することが出来ましたが、年度末にはすでに新規相談を受ける余裕がなくなってきており、新規相談から面接までに2か月程度時間が掛かるようになってきています。そのため、当事業所における新たな職員の増員を考えるだけでなく、市内全体での相談員の増員にむけて、相談支援事業所では人材育成や計画作成のマニュアルの改訂などに取り組んでいくことが必要だと考えています。

#### ⑤介護支援係

令和3年度の報酬改定においても自宅での看取りや、医療介護連携についての評価は重要なものとなっています。コロナ禍の影響を受け、病院に入院すると利用者が家族との面会ができないことから、病状が重い利用者が短い準備期間で自宅に退院するというケースが多くみられました。医療機関等との連携を密に取ることで迅速に対応を行っていることが評価され、さらなる依頼に繋がっています。また高齢の利用者がコロナ陽性となっても自宅での療養を余儀なくされるケースも発生し、自宅で療養するためのサービス調整を行いました。今後も利用者、家族の多様な希望に寄り添えるケアプラン作成を継続していきます。

職員の体制としては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務、直行直帰勤務等の勤務体制を柔軟に対応することで、通常どおりのケアマネジメント業務を継続実施することができました。またタブレットの活用等による業務のICT化を継続し、医療機関やサービス提供事業所とのスムーズな情報共有等によるケアマネジメント業務の質の向上に今後も努めていきます。

地域においては芦屋市介護サービス事業者連絡会や芦屋市ケアマネジャー友の会の役員・委員を務めることで、事業所内外の人材育成に貢献しています。特に、このコロナ禍においては、ZOOM等のオンラインツールを活用するための研修会実施し、コロナ禍で求められるオンライン会議対応のためのスキルアップにも継続して取り組みました。今後は事業継続のため職員の採用育成が課題となっています。

## ⑥訪問介護係

令和3年度は職員2名が長期療養に入り(1名は復職)、また職員内にコロナ感染者が5名発生し、人員確保に苦勞しました。サービス提供責任者3人に定期派遣・代行業務が増え、サービス提供責任者業務を時間外に行うこととなり残業が大幅に増加しました。現在加療中また入院中の職員がいること、サービス提供責任者の担当ケース数が増加しているため、サービス提供責任者やヘルパーの増員が喫緊の課題となっています。

派遣実績についてはやや減少は見られますが、概ね維持できたと考えています。コロナ禍で自立支援ヘルプに影響が出ていますが、令和2年度と比較して同行援護利用が戻りつつあることと、移動支援新規契約が増加しています。介護保険は死亡・入所等により終了するケースが多くありましたが、厳しい人員体制のなかでも積極的に新規ケースを受け入れることによって大幅な派遣回数・収入の減少を避けるよう努めました。具体的には各ヘルパー稼働時間1日4.5を目標に業務配分を行いました。また、業務の効率化を図り、サービス提供責任者の業務負担軽減の為、ケース記録・サービス状況報告書の様式変更などを検討中です。サービス提供責任者会議を今後も適宜行うこととし、情報共有や問題解決を図りたいと考えています。

コロナ陽性者・濃厚接触者宅にヘルパー派遣を実施し自宅療養を支援しました。今後の派遣のあり方、感染症対策の見直しが必要だと考えています。

## ⑦訪問看護係

令和3年度は、5～6月に第5波、令和4年2月に第6波の影響を受け、保健所や開業医、ケアマネジャーから依頼を受けコロナ陽性者宅に訪問しました。感染対策を確実に行ったため、事業所内での感染の拡大等は見られず、訪問を終えることができました。令和2年度の第4波の時のように、一般利用者の「訪問控え」は多くなく、リハビリチームは多少の影響はあったものの、看護チームではほとんどありませんでした。

リハビリチームは、年間通して安定した収支を得ることができていましたが、看護チームは、夏場に新規依頼の減少、複数回訪問利用者の入所や死亡が重なり収支が単月赤字となりました。秋以降は、順調に新規依頼数も増え安定しました。

看護チームは、機能強化型ステーションⅡとして、令和3年度は在宅看取りを20件算定できました(令和2年度は17件)が、地域住民などに対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施は行うことができなかったため、令和4年度の課題とします。

リハビリチームを中心に、社協の独自事業として、介護予防講座を実施しました。講座では、市

民講座と依頼のあった地区に訪問する出張講座を実施しました。アンケートでは好評をいただき、令和4年度の参加を希望される声も多く、地区の出張講座も他の地区からの要望もいただいています。リハビリチームのメンバーが、芦屋PTOTST連絡会の主軸となり、芦屋市のリハビリ専門職のネットワークの基盤として活動しています。市内のリハビリ専門職の連携だけでなく、市や関係機関との懸け橋となり、市内のリハビリ専門職における地域リハビリの推進を担っています。3月には芦屋市普及啓発事業として社協と芦屋PTOTST連絡会共催で「芦屋で取り組む介護予防」と題して、リハビリチームが中心となり準備を行い、オンラインで開催に至りました。

令和3年度は、リハビリチームで1名、看護チームで1名の採用を行いました。また、医療依存度が高い利用者の緊急対応が増えているため、業務改善として、24時間対応職員を3名から4名に増やし対応しています。

## ⑧通所介護係

コロナ禍での基本的な感染対策としてオゾン発生器や加湿機の使用・食事時の遮へい板の使用、事業所内の各所にアルコール消毒・換気の徹底等環境整備に留意した運営を継続しました。プログラムにおいては引き続きボランティアの受け入れを中止、外出プログラムの中止、地域との交流行事の中止（夏祭りの縮小・コミスク運動会参加中止）など運営においてコロナ禍の影響は大きく受けました。

1月末には利用者からコロナ陽性者が発生したため2日間の休業を余儀なくされましたが、複数の利用者や職員に感染が拡大することはありませんでした。職員やその家族がコロナ陽性者となることもありましたが、いずれも感染者が拡大しなかったことは幸いでした。

利用者の対応としては1日のプログラムの中に体操を組み込むことを実施し定着しています。法人内訪問看護ステーションの職員の協力を得ることで月・水・金曜と週に3回は加算が算定できる機能訓練を実施することができており、運動の機会を求める利用者に好評を得ています。また、秋以降、比較的軽度の方の利用が増加してきています。

介護職員、入浴介助員、調理員などに欠員が出た場合、補充がとても困難な状況でした。運営体制を整えるため在籍する職員で出勤日数を調整するなどの対応を行いました。通常の求人に加えて地域の方に応募してもらうよう自治会の方の協力を得てチラシの戸別配布や掲示を行いました。問い合わせはあったものの、採用には結びつきませんでした。

## ⑨地域包括

地域包括支援センターの総合相談支援業務の相談延人数は令和2年度よりも598件増加しています。また、1か月の新規相談受付件数が50件を超える月が3か月あり、令和4年1月は53件となり過去最高件数でした。トータルとして新規相談が457件あり、令和2年度比約15%増加しました。高齢者虐待通報も令和3年7月には8件上がるなどトータル26件通報が上がり、緊急対応にも追われました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務においては、関係機関同士の連携体制構築として民生委員と介護支援専門員との連携に力を入れてきました。しかし、コロナ禍でなかなか参集の会議を持つことができなかつたため、「精道中学校区連携ブック」を民生委員・居宅介護支援事業所の協力を得て作成し、顔の見える関係性の構築に役立てました。その成果として、介護支援専門員からの相談延べ件数が令和2年度の3.5倍（56件）になりました。

一般介護予防事業として、地域における自主活動支援として春日町アメニティーコートの多目的室において自主グループ「縁（えん）」の立ち上げのプレイベントを開催し、令和4年4月からの自主グループ化の支援を行いました。令和4年度においては、さわやか教室を地域のマンションなどに呼びかけ、自主グループ化・居場所づくりにつなげていく仕組みをもってさわやか教室の開催を進めていきます。

認知症高齢者の支援として、1名の方ではありますが、現在行っている活動を継続していくために社会資源とのマッチングや新たな活動の場の創設も行いました。今後は活動の場の継続やこのたびの経験やノウハウを共有し居場所づくりや他の認知症当事者の活動の場の継続に役立てたいと考えています。

基幹的業務担当では、市内4センターの機能強化と協働事業の推進、介護支援専門員等の資質向上に向けた取り組み、全市的な地域支援ネットワークづくりに取り組みました。

4センター協働による取り組みは、コロナ禍で参集型での開催が困難な介護予防ケアマネジメント研修や、リハビリ専門職との連携促進を目的とした研修会（「おしえて！リハビリ」）の企画実施、市民へのフレイルに関する啓発手法の検討等に取り組みました。

介護支援専門員等の資質向上に向けた取り組みについては、芦屋市ケアマネジャー友の会の主任介護支援専門員の会が講師となり研修を開催できるよう、講師養成研修の企画・実施、研修プログラム、模擬講義等を重ね、令和4年度開催にこぎつけました。また、対人援助の実践に資する研修として位置づけている「対面型の事例検討会」については、開催要望もあり、令和3年度は2回実施できました。

全市的なネットワークづくりについては、西宮市・芦屋市退院調整ルールの推進については、芦屋健康福祉事務所や芦屋市、西宮市等とで構成されるコーディネーター会議等に参画し、コロナ禍によって中止されてきたルールのメンテナンスを目的とした「退院調整ルール点検協議」をオンラインで開催することができました。また、市内のケアマネジャーを対象とした高齢者虐待防止研修の開催、芦屋市地域福祉課による呼びかけに応じる形でヤングケアラーの実態調査、地域ケアシステム検討委員会のプロジェクトチームへの参画による気づきのチェックポイントシート開発とその前段の社会調査等に取り組みました。

認知症地域支援推進員等配置事業では、認知症当事者や家族の声から必要な社会資源や支援ネットワークを検討することを目的として「認知症を考えるあしやの会」を令和3年11月、令和4年3月に2回開催しました。令和4年度においては当事者の方が集える場として、少人数でも定期開催ができるように検討しています。市内の3包括の認知症地域支援推進員と協働し、普及啓発や若年性認知症支援ネットワーク会議を開催しました。



## 第7次地域福祉推進計画 推進目標評価

各係による事業の取組内容を踏まえて、第7次地域福祉推進計画の各目標の達成状況について、以下のとおり評価しました。

### 推進目標1 福祉への理解と多様な地域福祉活動の推進

地域福祉を推進するため、市内学校園等で福祉学習を展開し、幼少期から福祉に興味・関心を持てる学習の機会確保に努めるとともに、様々なボランティア活動等を支援することで活動につながる取組を充実させてきました。

また、地域での福祉活動の中核として、福祉推進委員と民生委員児童委員による地区福祉委員会を設置し、高齢者の見守りや生きがいデイサービス等の活動が充実してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令等に伴い、多くの人が集まる活動が制限されたため、代わりに個別の訪問等を導入することで、改めて、地域での見守りや声掛けの重要性、必要性を再確認できました。このことは、地域で孤立する人など誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けて、地域住民や関係機関団体等との協働による地域づくりに取り組むための体制につながりました。

### 推進目標2 多様なニーズに対応した社協らしい相談支援・生活支援の推進

総合相談窓口では、分野や属性を問わず様々な困りごとを受け止め、相談対応してきました。その内容に応じて、地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、権利擁護支援センター、生活困窮者自立相談支援等、各分野の相談窓口適切につなぎ、協働で支援するための仕組みづくりも検討してきました。相談内容が複雑化・複合化する中で、一つの相談機関だけでは対応が難しい場合や、世帯全体で支援する必要のある相談が増加する傾向にあることから、今後より一層、関係機関との連携が求められます。こうした背景から、社会福祉法改正に伴い、重層的支援体制整備事業が新設され、相談支援、地域づくり支援、参加支援の三つの支援に一体的に取り組んでいくことが求められています。相談支援部門では、多機関協働の仕組みづくりに取り組み、次年度以降の体制整備に努めました。

### 推進目標3 地域福祉を推進するためのネットワークの強化

芦屋市地域発信型ネットワークのプラットフォームを活用し、地域住民と関係機関団体が顔の見える関係づくりに継続的に取り組みました。特に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、地域での会議開催が難しい中、直接地域に出向き、コープ移動店舗、子ども食堂、フードドライブ、居場所づくりなどの具体的な活動の支援に取り組みました。また、地域ケアシステム検討委員会では、専門職と行政が協働し、分野や属性を超えて複雑化・複合化する相談に対応するための仕組みづくりを検討しました。住民向け、専門職向けの気づきのポイントチェックシートを作成するなど包括的相談支援の体制づくりに向けた仕組みが構築されました。

さらに、従来の地域住民と福祉の関係機関団体以外に、コープこうべ等の民間事業者との協働での取組が進んだことから、今後の多様な主体が協働して地域福祉を推進するためのネットワークの構築が進みました。

#### 推進目標4 社協基盤の強化

平成31年4月に芦屋ハートフル福祉公社との事業統合により、介護保険事業を実施する社協となりました。統合後3年を経過し、総務部門を中心に、人事労務管理、諸規程の整備等を進めてきました。人事労務管理については、コロナ禍の影響も重なり、直行直帰や時差出勤など柔軟な勤務形態を取り入れるとともに、勤怠管理システムを導入しました。

介護保険事業において業務の効率化を図るために導入していたクラウドサービスによる記録管理等を試行的に実施していましたが、コロナ禍の中でオンラインによる会議が必要となったことも重なり、法人全体でのICT活用が進みました。

事業統合した芦屋ハートフル福祉公社の介護保険事業は収益事業であることから、その収支状況について分析することで、収支改善に取り組むことで、法人全体での財務管理の意識を高めることにつながりました。

また、第8次地域福祉推進計画策定作業にあたっては、各係が協働で次の5か年の推進目標と具体的に取り組むためのアクション項目を立てるなど、地域福祉と介護保険事業の融合に向けた内容を計画に盛り込むことで、組織基盤の強化と人材育成の重要性を共通認識として持つことができました。令和4年度からは第8次地域福祉推進計画の推進目標に沿って、包括的な相談支援体制づくり、多世代交流拠点づくり等の具体的事業活動を展開するとともに、財政基盤の強化、基金活用の検討等、役職員による協議を重ねながら取り組んでいきます。

# 事業実績報告

## 1 地域福祉事業

○地区福祉委員会活動 [福祉推進委員数162人(令和4年3月31日現在)]



地区	月日等	活 動	内 容	参加人数 (人)
精道	6回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	132
	随時	訪問活動	各町で実施	
	3月	「こでまり」発行	地区福祉だより	
	随時	安全パトロール	登下校の見まもり	
山手	5回開催	地区福祉委員会(町代表者会、全体会)	活動内容の協議等	90
	4回開催	研修	介護保険制度、フレイル対策、口腔ケア、発達障がい	90
	随時 1月	訪問活動 「福祉委員会だより」発行	各町で実施(ポカリスエット・メッセージカードの配布) 地区福祉だより	193
宮川	3回開催	地区全体委員会	活動内容の協議等	89
	6回開催	各町代表者会	活動内容の協議等	48
	4回開催	研修	フレイル予防講座、救命救急講習、	95
	7回開催	高齢者のつどい	施設見学(人と防災未来センター)、認知症サポーター養成講座 西蔵・打出小槌・宮塚・西蔵・呉川町で実施	207
	8、9月	訪問活動	救急医療情報キットやフリーズドライ味噌汁等配布(各町でさまざま)	585
	3月	「陽だまり」発行	地区福祉だより	
	随時	福祉マップ作り	各町で福祉マップ作成	
岩園	4回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	124
	8月	訪問活動	各町で実施	
	8月	夏のパトロール	各町ごとに子どもの見守りと危険な場所のチェック	
	2月	訪問活動	各町で実施	
	月2回	児童下校パトロール	下校時の見守り	
朝日 ヶ丘	5回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	77
	10月	訪問活動	除菌シートの配布	203
	12月	訪問活動	祝箸の配布	192

	3月	「それいゆ」発行 研修	地区福祉だより 「知的・発達障がい」について	17
	随時	一斉パトロール	朝日ヶ丘小学校下校時の見まもり	
三条	10回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	266
	4月	下校サポート	山手小学校1年生の下校サポート	
	5月	給食サポート	山手小学校1年生の給食サポート	
	5月	訪問活動	リーフレットカードのポスティング	
	9月	訪問活動	リーフレットカードのポスティング	
	10月	介護予防講座	コムスクと合同の介護予防講座	
	12月	訪問活動	防災シートと使い捨てカイロ配布	
	3月	「お元気ですか？」発行	地区福祉だより	
打出 浜	4回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	71
	9月	訪問活動	マスク5枚・手紙の配布	
	10月	福祉マップ作り	各町で福祉マップ作成	
	1回開催	研修	防災と備蓄術セミナー	20
	1回開催	高齢者のつどい(春日・打出町合同)	映画観賞とお菓子のお渡し	17
	3月	「ひまわり」発行	地区福祉だより	
潮見	7回開催	地区福祉委員会(全体会)	活動内容の協議等	126
	1回開催	高齢者のつどい(潮見)	お菓子・啓発チラシの配布	30
	1回開催	高齢者のつどい(潮芦屋)	お菓子・啓発チラシの配布	73
	1回開催	研修	施設見学(喜楽苑・人と防災未来センター)	20
	2回開催	福祉学習支援	潮見小学校(車いす・アイマスク)	4
	7月	訪問活動	マスク・除菌シートの配布	241
	10月	福祉マップ作り	福祉マップ作り	
	3月	「しおみ」発行	地区福祉だより	
浜風	11回開催	地区福祉委員会	活動内容の協議等	188
	2回開催	高齢者のつどい	フレイル予防講座、手品	91
	7月	「はまかぜ」発行	地区福祉だより	
	7月	福祉マップ作り	各町で福祉マップ作り	
	9月	訪問活動	マスクの配布	
	12月	年末警戒	自治連の年末警戒に参加	

### ○地区福祉委員会正副代表者会

6回開催 (4/26, 6/23, 8/30, 10/27, 12/20, 2/21)	コロナ禍での活動について、各地区活動状況の報告と情報交換等
--	-------------------------------

### ○福祉推進委員研修



全体では開催していないが、各地区で研修を実施しました。

## ○地区生きがいデイサービス（受託事業）

地区	場所	内容	回数(回)	参加人数(人)
精道地区	茶屋集会所	体操	76	505
	竹園集会所	カラオケ	5	64
	如来寺	健康体操	11	184
山手地区	大原集会所	歌で楽しむ	5	129
宮川地区	若宮集会所 西蔵集会所	防災備蓄セミナー、寄せ植え、手芸等	4	107
岩園地区	上宮川文化センター	マジックショー	1	75
朝日ヶ丘地区	朝日ヶ丘集会所	ナンプレ、ハーバリウム	6	70
三条地区	三条集会所	さわやか体操	36	298
		手を動かす会「ひこばえ」（手芸等）	7	26
		歌う会「エゴラド」	7	97
打出浜地区	春日集会所	歌おう会	7	128
		いきいき体操	10	173
	打出集会所	歌(3月より再開)	1	15
潮見地区	潮見集会所	ハーバリウム、しめ縄づくりなど	4	62
	陽光町市営住宅集会所	体操、タップダンスなど	5	57
浜風地区	芦屋浜管理センター	カルタ、手芸など	7	87

## ○各地区（町）高齢者のつどい



2地区・6町で実施	14回 464人
-----------	----------

## ○高齢者訪問事業



9地区・46町で実施	のべ2382人
------------	---------

## ○福祉推進委員活動の広報



発行地区	助成額
9地区	163,685円

## ○「ストップ・ザ・無縁社会」の取組の推進



「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンが、地域共生社会の実現のため『つながりで笑顔輝く』推進プロジェクトに改編されたため、フォーラム開催助成金についても終了となりました。

## ○地域福祉活動功労者への社協感謝状贈呈



感謝状贈呈式として開催予定であった、社会福祉大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、実施しませんでした。

○災害時要配慮者支援の個別支援計画作成

実施無し。

○自主防災活動への参加、協力

月 日	場 所	内 容	参加数(人)
4月20日 10月27日	市役所、岩園小学校	岩園小学校避難所運営協議会	各 1
11月6日	打出小槌町	災害時要配慮者安否確認訓練	2
11月14日	宮川町	自主防災会ワークショップ	2

○救急医療情報キットの配布

救急医療情報キットの配布	301
--------------	-----

○多様な主体との連携の強化

事業名	内 容	実績等
あしや市民活動センターとの連携	「あしや笑顔ネット会議」出席 「ためまっぷ芦屋会議」出席	出席無し 5回
フードバンク活動との連携	フードバンク関西と協定に基づき生活困窮者へ食糧支援の調整	40件
	フードバンク関西と芦屋市との協定に基づく防災備蓄食料提供の調整	2件
フードドライブ活動	フードドライブの実施（福祉センター総合相談窓口） 月1回実施（第3週月曜日～金曜日）	12回
	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の実施	10/5 7団体 提供 388点
	コープこうべと芦屋市との協定に基づくフードドライブ事業の実施（常設）【令和3年1月～】	受取 51回 提供 111件
	子育て中の生活困窮世帯へのアルファ化米の配布	21件
芦屋市健康増進・全世代交流に向けたプロジェクト「こえる場！」	開催無し	
国際ソロプチミスト芦屋 「ほほえみ支援基金」	生活に困窮している子どもとその世帯への支援のため、必要な物品購入費用を支援実施しました。 1月27日 活動報告会開催	1件

○協力事業者による地域見まもりネットワーク事業

見まもりネットワーク事業所	131件
事業所からの相談	28件（うち高齢者支援センター22件）

○福祉なんでも相談の実施

	実施回数（回）	相談件数（件）
セブンイレブン潮芦屋店（第2火曜日）	9	4

○地域支えあい推進員との連携

月 日	内 容
2月に1回	芦屋市地域支えあい推進員連絡会（全市）
毎月	〃（東山手圏域）
毎月	〃（西山手圏域）
毎月	〃（精道圏域）
毎月	〃（潮見圏域）

○地域活動者の支援及び地域（町）への支援

内 容	回数
コープ移動販売（東山町、打出小槌町、宮川町）継続支援（チラシ作成等）	通年
ケアマネジャー向けコープ移動販売見学ツアー（打出小槌町）	2回
子ども食堂への支援 ・助成金の情報提供、フードドライブを通じた食品の提供	新規支援2か所 継続支援2か所
潮芦屋ふれあい元気の会 実行委員会、季節イベントへの参加	通年

○地域活動団体への支援

月 日	内 容	団体数（件）
10月5日	コープこうべのフードドライブによる食料等無償提供会、交流会の開催	7

提供会以外にも、随時団体へ提供しています

○関係会議への出席

名 称	出席回数（回）
多職種による自立に向けたケアプランに係る地域ケア会議	1
芦屋市自立支援型地域ケア会議	11回
地域ケア会議	4回

○個別支援業務

内 容	対応回数（回）
個別相談	7
個別ケース対応	40

○心配ごと相談事業（相談内容及び件数）

ア) 分野別集計

分 野		件数	分 野		件数
高 齢 者 に 関 す る こ と		133	こ ど も に 関 す る こ と		14
障 が い 者 に 関 す る こ と		7	そ の 他		12
				合 計	166

イ) 相談内容別集計

相 談 内 容		件数	相 談 内 容		件数
1	在 宅 福 祉	8	8	年 金 ・ 保 険	0
2	介 護 保 険	6	9	仕 事	1
3	保 健 医 療	10	10	家 族 関 係	7
4	子 育 て ・ 母 子 保 健	2	11	住 居	2
5	こ ど も の 地 域 生 活	2	12	生 活 環 境	12
6	こ ど も の 教 育 ・ 学 校 生 活	3	13	日 常 的 な 支 援	63
7	生 活 費	8	14	そ の 他	42
				合 計	166

ウ) 心配ごと相談研修の開催

月 日	開催場所	主な内容
7月30日	市役所	令和2年度 活動状況報告、事例検討

○ニーズに応じた先駆的なサービスの推進

事業名	事業の主旨	件数及び内容
生活物品等ゆずりあいネットワーク事業	経済的に困窮している世帯等が必要とする日用品を地域住民等に提供の協力を呼び掛け、物品提供の支援を実施	提供点数 111点 洗濯機、掃除機、炊飯器、テレビ、扇風機、布団、衣服、靴 等

○しょうがい者とのスポーツ交流ひろば（受託事業）

開催日時	奇数月第3土曜日、偶数月第3火曜日												
開催場所	福祉センター												
内 容	サウンドテーブルテニス、ボッチャ、フライングディスク等												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加人数(人)	10	12	8	13	8	25	18	17	14	17	13	9	164



## ○「まごのて」の運営



平成23年に打出商店街の中に開設された「まごのて～打出いこいの場」は、令和2年に閉鎖となりました。その後、活動の継続を希望する見まもり協力員（ボランティアスタッフ：以下「協力員」）により、自治会の会館や公共施設などを借りて、「おしゃべり場」「アクリルたわし教室」「絵手紙同好会」の活動を行っています。

令和4年3月には2年ぶりに「お茶会」が復活しました。

協力員登録人数……17名（令和3年4月1日現在）

### ア) 行事・イベントの開催と参加者数

#### ①おしゃべり場 <毎月第2火曜日 @江尻川会館 参加無料>

4/13	5/11	6/8	7/13	8/10	9/14	10/12	11/9	12/14	1/26	2/8	3/8	計
中止	中止	中止	中止	休み	10名	7名	9名	8名	6名	4名	5名	49名

協力員が聴き役となり、気軽なおしゃべりの場として開催しています。参加者のようすは、適宜もしくは月1回の打合せ会の際に担当職員と共有しており、協力員が抱え込むことがないよう配慮しています。

#### ②アクリルたわし教室 <毎月第3木曜日 @若宮集会所もしくは打出教育文化センター 参加費100円>

4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/21	11/18	12/9	1/20	2/16	3/23	計
7名	中止	中止	6名	休み	7名	7名	8名	9名	7名	4名	6名	61名

長年講師役を務めていた協力員が、年度途中で都合により降板（協力員は継続）しましたが、他の協力員がアイデアを出し合って、活動を継続しています。商店街時代からの常連メンバーが多く、活動日以外に作った手芸作品を交換しあったり、お互いの体調を気にかけてあったりする関係性ができています。

#### ③絵手紙同好会 <毎月第4水曜日 @芦屋市保健福祉センター ワークルーム 参加費100円>

4/28	5/26	6/23	7/28	8/25	9/22	10/27	11/24	12/22	1/26	2/16	3/23	計
中止	中止	中止	5名	4名	4名	6名	6名	7名	7名	7名	9名	55名

「同好会」という形式でお互いに教えあひながらの活動を続けています。参加者の口コミにより、年度後半より徐々に参加人数が増えてきています。

#### ④お茶会<令和4年3月25日開催 @芦屋市保健福祉センター 高齢者交流室 参加費100円>

拠点の閉鎖、コロナ禍を経て約2年ぶりの開催となり、34名の参加があった。商店街時代の常連や、各教室の参加者に加え、保健福祉センターの利用者が通りがかりに立ち寄る姿も見られました。協力員の達成感や満足度も非常に高い活動です。感染症の状況を見つつ、令和4年も2か月に1回程度開催する予定です。

### イ) 自主財源確保の取り組み

教室・イベント等による収入	9,513円
---------------	--------

## ○プラスワン福祉基金事業

プラスワン打出浜ブーケ

毎週火曜日～金曜日 午前11時から午後3時まで開所

主な行事

月 日	内 容
7月27日	開所式
8月17、24、31日	折り紙「風鈴」
9月7、14、21、28日	折り紙「小箱」
10月13日	ミニ講話「ちょっと知りたい介護保険のこと」
10月30日	ハロウィン
11月24日	ミニ講話「ちょっと知りたい認知症のこと」
12月15日	ミニ講話「認知症のこと、睡眠のこと」
1月12日	ブーケ寄席
3月16日	ミニ講話「フレイルについて」

## ○高齢者福祉月間行事



芦屋市敬老会中止のため、実施無し

## ○福祉イベント等への参画

月 日	場 所	内 容
9月15日	福祉センター	あしや保健福祉フェア実行委員会
中止	総合運動公園	障がい者とのふれあい市民運動会
中止	福祉センター	こどもフェスティバル
中止	福祉センター	障がい児年末のつどい
12月2日～10日	福祉センター 木口記念会館	第11回芦屋市障がい児・者作品展

\*「芦屋市保健福祉センター」を以降、「福祉センター」と表記します。

## ○芦屋市地域発信型ネットワーク（受託事業）

### ア) 小地域福祉ブロック会議

開催無し

### イ) 地域ケアシステム検討委員会正副委員長会

月 日	内 容
4/28、5/12、6/14、6/30、7/8、7/15、8/13、 8/30、11/10、11/18、12/8、2/2	地域ケアシステム検討委員会の進め方について

ウ) 地域ケアシステム検討委員会

月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
6月14日	第1回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の報告</li> <li>・令和2年度の取り組み</li> <li>・令和2年度第2回地域福祉推進協議会報告</li> <li>・今年度取り組むべき課題について</li> </ul>	14
7月15日	第2回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉推進協議会報</li> <li>・気づきシートについて</li> <li>・課題解決のプログラムについて</li> <li>・専門職向け気づきのポイントチェックシート作成PTについて</li> </ul>	13
9月16日	第3回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきシートの試行的配布について</li> <li>・気づきシートの活用ルールについて</li> <li>・私たちのまちについて話し合う場(仮称)枠組みについて</li> </ul>	14
10月21日	研修会	<p>「地域における多文化共生」</p> <p>講師 北村広美氏 多文化共生ひょうご</p>	18
11月18日	第4回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第1回地域福祉推進協議会報告</li> <li>・外国人支援の勉強会の振り返り</li> <li>・今後に向けて</li> </ul>	11
1月20日	第5回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしい日本語について</li> <li>・やさしい日本語を用いた啓発ちらしの作成</li> </ul>	11
3月17日	第6回地域ケアシステム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳PTについて</li> <li>・気づきシート試行的配布について</li> <li>・気づきシートの活用ルールについて</li> <li>・やさしい日本語について</li> <li>・専門職向け気づきのポイントチェックシートについて</li> <li>・私たちのまちについて語り合う会について</li> <li>・2年間の振り返り</li> </ul>	12

エ) 専門職向け気づきのポイントチェックシート作成PT

月 日	内 容
9/21、10/18、11/24、12/14	シート作成に係る会議
12/9～1/20	福祉専門職・医療柔医者・行政職員向けアンケート実施 (142名回答)

オ) 65歳PT

月 日	内 容
12/13	グランドルールのモニタリング

カ) 社協内部の相談支援体制構築のための検討会議

月 日	内 容
4/30、5/24、6/16、7/27、8/31、9/10、 9/29、10/11、10/25、11/4、11/30、12/22、 1/6、1/25、2/10、2/22、3/7、3/14	重層的支援体制構築のための検討、ケース検討

キ) 地域福祉推進協議会

月 日	会議名	内 容	参加人数(人)
11月15日	第1回地域福祉推進協議会	・ 芦屋市地域福祉推進協議会における協議事項と その取組 ・ 令和3年度地域発信型ネットワークの取組状況 ・ これまでの小地域福祉ブロック会議の活動を踏 まえた今後の取組（協議）	16
3月25日	第2回地域福祉推進協議会	・ 令和3年度地域発信型ネットワークの取組報告 ・ 重層的支援体制の構築について	13

○福祉センター受付、総合案内業務（受託事業）

会議室 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数	利用 者数
会議室 1	20	13	32	24	20	27	37	29	21	26	34	35
	274	79	492	316	321	330	537	417	246	507	229	436
会議室 2	11	12	17	18	16	9	27	23	18	23	28	29
	117	110	171	178	160	62	302	222	194	597	234	204
多目的 ホール	27	31	31	34	32	32	32	29	26	26	27	30
	2,525	1,850	1,669	3,563	3,368	845	1,107	718	26	763	1,041	1,821
調理室	3	4	22	32	24	21	22	20	12	12	17	24
	38	70	435	714	492	358	345	282	123	168	246	352
運動室	53	49	60	54	49	54	58	57	51	50	53	54
	762	636	864	839	813	962	599	911	863	724	950	936

○生活支援体制整備事業

ア) 1層（全市域）

①事業の周知啓発（1・2層協働）

地区福祉委員会、クラーク国際高等学校などに実施した。7月よりは本会のホームページを開設し、事業の紹介、地域支え合い推進員通信「あしもり」を掲載しました。

「あしもり」3号（8月）、4号（3月）に発行しました。

## ② 2層圏域の取組の支援

2層圏域において具体的な取組ができるように、事業を企画し、推進しました。

月 日	内 容	圏 域
1/29	The 座談会（活動者交流会）	東山手
7/13	コンビニとのネットワークづくり	西山手
11/16～11/29	小さな菊花展	西山手
12/22	甲南高校生によるによるフレイル予防講座	西山手
通年・随時	芦屋むぎばたけの立上げ支援	西山手
7/27	精道地区つどい場交流会	精道
8/16、8/23	コープこうべ移動販売 見学ツアー	精道
11/18	大東町LSA 健康フェスタ	精道
12/1～3/31	集い場 縁 の立上げ支援	精道
通年（6/11～）	潮芦屋ふれあい元気の会 Zoom会議導入	潮見
4/1～6/30	「よつば会」立上げ支援	潮見
6/28、8/25、 10/27、12/15、 2/16	福祉のまちづくりプロジェクト	潮見
通年	ためまっぷ芦屋の全市的普及	全市
通年	場所リスト作成	全市

## ③多様な主体との協働

コープこうべ・・・フードドライブ交流会、地域つながるミーティング

高齢者生活支援センター・・・あしやの会、若年性認知症ネットワーク会議、

世界アルツハイマーデーポスターコンテスト、地域ケア推進ミーティング等

リードあしや・・・ためまっぷ芦屋会議（全市的普及）

## ④研修

ファシリテーション技術の習得のため、全市あしもり会において自主研修を行いました。

## イ) 2層（精道圏域）

令和3年度より、精道圏域の地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）を受託しました。

### ①通いの場に関する支援

新規立上げの支援	5か所
運営継続の支援	5か所
交流会の開催	1回（7月24日）

新規・継続とも、プログラム内容の検討、チラシの作成支援、地縁団体（自治会、地区福祉委員会等）へのつなぎ、助成金に関する情報提供などを行いました。

通いの場の主催者においては、コロナ禍で通いの場を開催してもよいのかどうかや、活動を再開したものの参加者が伸び悩むなどの悩みが見られた。交流会では、「それでも細々と続けていくことが大事なのではないか」という意見が出ました。

## ②地区福祉委員会への出席

圏域内の地区福祉委員会（精道地区、宮川地区、打出浜地区）へは、地域支え合い推進員として出席した。地区担当と役割分担し、地域活動の紹介や、話し合いの機会を設けるためのミニ講座の開催等を行いました。

## ③ネットワークの構築

精道高齢者生活支援センターとは月1回ミーティングを持ち、地域情報の共有や、共同事業の打合せを行っている。令和3年11月にはLSAが主催する「秋の健康フェス」に地域支え合い推進員として参加し、法人内の多職種と協働することができました。

他市のコーディネーターとの情報交換のため、兵庫県社会福祉協議会が開催する「えんがわナビ」に月1回参加しています。

## ④地域支え合い通信『ええやん！精道』の発行

Vol.01	令和3年9月発行	500部
Vol.02	令和4年1月発行	700部

圏域内の住民活動や、人と人の自然な支え合い（お宝）を紹介し、支え合いの価値を広く市民に伝えるために、『ええやん！精道』を発行した。通いの場等の活動者、圏域内の公共施設、地区福祉委員会、自治会、老人会等に配布した。令和4年度も、年3回の発行を目指します。

## 2 ボランティア活動センター（受託事業）

### ○ボランティア登録数と主な活動内容

登録数		グループ	32グループ 877人 (準登録グループ含む)	個人	137人
主な活動内容	在宅福祉活動	朗読、点訳、手話通訳、要約筆記、安否確認（電話・訪問）、高齢者会食会、子育て支援、アクリルたわし作り、布おもちゃ作り、外国人学習支援、子ども食堂、復興住宅支援（友愛訪問、情報提供、ふれあい喫茶、行事協力）			
	施設利用者への支援活動	行事手伝い、運営支援			

### ○ボランティア活動センター連絡会議

開催無し

### ○ボランティアコーディネート

相談	115件
派遣調整	4件
新規登録	34件
備品貸出（布おもちゃ等）	218件

### ○福祉ボランティア功労者への感謝状贈呈

第69回兵庫県社協会長表彰	芦屋いずみ会
---------------	--------

### ○ボランティア市民活動災害共済等への加入促進

市民活動災害共済プラン	992人
天災危険補償プラン	42人
事故報告・傷害保険申請及び給付	4件
ボランティア活動等行事用保険	19件

### ○児童・生徒等のボランティア活動事業



事業名	内 容	助成件数	助成金額
園児・児童・生徒等福祉学習助成事業	園児・児童・生徒の福祉学習への助成	15校	152,728円
児童・生徒等のボランティア活動事業	児童会・生徒会・ボランティアクラブの事業及び学校と地域の交流事業等への助成	3校	51,026円

### ○ボランティア団体等への貸室事業

会議室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
団体会議室 1	392	312	447	488	371	324	512	495	413	421	361	481
団体会議室 2	549	240	427	538	380	355	616	620	677	488	342	685
福祉団体室	182	90	148	179	119	155	283	218	207	154	146	195
ボランティア活動センター	213	62	112	164	118	75	195	216	158	190	156	191

### ○夏休み中学生福祉ボランティア学習



月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
8月12日 ～13日	夏休み中学生 福祉ボランティア学習	中学生を対象とした夏休み期間に、福祉や防災についての学習などのボランティア体験を実施	17

### ○学校での福祉学習活動



月 日	学校名	内 容	参加人数(人)
3月8日	岩園小学校	視覚障がいについて（講話）	4クラス 131
11月16日 11月30日	山手小学校	視覚障がいについて（講話）	3クラス 104
10月15日 11月12日 11月26日	浜風小学校	視覚障がいについて（講話・アイマスク体験） 肢体障がいについて（講話・車椅子体験） 聴覚障がいについて（講話）	2クラス 42
11月11日 11月18日 12月2日	精道小学校	視覚障がいについて（講話） 肢体障がいについて（講話） 障がいスポーツについて（ボッチャ体験）	3クラス 100

10月12日 10月8、13日 10月19日 10月22日、26日	潮見小学校	アイマスク体験 車いす体験 高齢者疑似体験 視覚障がいについて（講話）	3クラス 95
10月5日 10月29日	宮川小学校	肢体障がいについて（講話・車椅子体験） 視覚障がいについて（講話・アイマスク体験）	3クラス 101
12月8日	山手中学校	ゲストティーチャーによる講話 ・神戸アイライト協会 ・アクティブライフ山芦屋 ・（株）アーサ住環境コーディネーター ・市障がい福祉課 ・社協 理学療法士 ・福祉センター	5クラス 170
1月21日	潮見中学校	・アイマスク体験 ・視覚障がいについて（講話）	4クラス 121
10月14日	芦屋国際中等教育学校	・視覚障がいについて（講話・アイマスク体験） ・聴覚障がいについて（講話）	2クラス 40
6月15日 6月22日 6月29日 7月13日 7月20日	クラーク記念国際高等学校	・地域の高齢者、活動者の講話 ・高齢者施設、地域生活を支える専門職の講話 ・認知症サポーター養成講座 ・あじさいの会の講話、エコマップづくり ・4日間のまとめ	12
11月24日	小槌幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス 44
2月21日	岩園幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス 41
1月12日	宮川幼稚園	視覚障がいについて（講話）	3クラス 58
12月15日	潮見幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス 29
1月11日	西山幼稚園	視覚障がいについて（講話）	2クラス 55

○認知症サポーター養成講座基礎編（受託事業）

月 日	場 所	対 象	参加人数(人)
4月8日	上宮川文化センター	岩園地区福祉委員会	30
4月11日	オンラインによる開催	あしやまつり協議会	48
5月22日	青少年センター	認知症キッズサポーター養成講座参加者	2
6月28日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	11
6月29日	クラーク国際高等学校	クラーク国際高等学校3年生	8
7月20日	保健福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	8
10月8日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	6
10月20日	芦屋市役所	芦屋市新任職員等研修	44
11月19日	保健福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	12



11月29日	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員	10
1月25日	シルバー人材センター	生活支援型訪問サービス従事者研修受講生	17
2月16日	保健福祉センター	芦屋市在住・在勤の方	11
2月22日	オンラインによる開催	三井住友信託銀行職員	9
4月8日	上宮川文化センター	岩園地区福祉委員会	30
合計			256

○認知症サポーター養成講座ステップアップ編（受託事業）

月 日	場 所	対 象	参加人数(人)
3月8日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の認知症サポーター	11
3月15日	福祉センター	芦屋市在住・在勤の認知症サポーター	14
合計			25

○認知症啓発講座

月 日	場 所	内 容	参加数（人）
1月26日	芦屋市民センター	認知症予防 脳はつらつ講座講座 (NPO法人認知症サポートネットとの共催)	25

○手話奉仕員養成研修入門の開催（受託事業）

月 日	事業名	内 容	回 数	参加数（人）
7月1日 ～2月17日	手話奉仕員養成研修基礎の開催 (毎週木曜日)	手話奉仕員養成研修（基礎編）	22回	14

○災害ボランティア活動の推進

月 日	場所	事業名	内 容	参加人数 (人)
1月22日	オンライン	西宮市社協主催 災害ボランティア養成講座	災害ボランティアとは	2

○ボランティア情報の充実

事業名	内 容
ボランティア情報の発信	社協だより「ボランティア活動センターコーナー」にボランティア情報等を掲載

○活動に関する財源確保の支援



ボランティアグループ活動助成	20件
----------------	-----

○兵庫県県民ボランティア活動助成申請受付

助成決定団体	35件
--------	-----

## ○ひとり一役活動推進事業（受託事業）

### ア) 統計

ワーカー登録者	69名
受入登録機関	28施設
居宅支援活動	15件
ポイント転換交付者	39名

### イ) 月別活動者数及び活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
活動者数	26	25	20	24	25	28	31	31	35	27	31	30	333
延べ活動件数	86	85	69	70	85	86	92	96	103	75	88	94	1,029
（うち居宅）	(12)	(12)	(15)	(15)	(29)	(21)	(24)	(31)	(33)	(31)	(34)	(35)	(292)

### ウ) 交流会・研修会の開催

月 日	内 容	場 所	人 数
9月29日	ひとり一役ワーカー研修「Zoom体験」	福祉センター	5
3月8日	ひとり一役ワーカー登録説明会	コミュニティスペース「ふらっと」	1
3月10日	ひとり一役ワーカー登録説明会	福祉センター	2

## ○アクションプログラム推進事業（受託事業）

### ア) アクションプログラム推進協議会の開催（月1回）

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
4月20日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチプロジェクトについて</li> <li>・アクションアワードの実施について</li> </ul>	13
5月27日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチプロジェクトについて</li> <li>・幼稚園との取り組みについて</li> <li>・令和2年度報告書について</li> <li>・アクションアワードについて</li> </ul>	11
6月23日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園との取り組みについて</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・アクションアワードについて</li> <li>・令和2年度報告書について</li> </ul>	11
7月21日	市消防本部3階 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・アクションアワードについて</li> <li>・令和2年度報告書について</li> </ul>	10
10月25日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションアワードについて</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・おもいをつなごうプロジェクトについて</li> <li>・潮芦屋ふれあい秋まつりへの参加について</li> </ul>	11

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉でやきいも企画について</li> <li>・地域福祉アクションプログラム推進協議会について</li> </ul>	
11月15日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮芦屋ふれあい秋まつり報告</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・おもいをつなごうプロジェクトについて</li> <li>・落ち葉でやきいも企画について</li> </ul>	12
12月22日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチプロジェクトについて</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・落ち葉でやきいも企画報告</li> <li>・地域福祉アクションプログラム推進協議会について</li> </ul>	12
1月18日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> </ul>	11
2月14日	福祉センター オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉でやきいも企画振り返り報告</li> <li>・地域福祉アクションプログラム推進協議会について</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> </ul>	13
3月15日	市民活動センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度地域福祉アクションプログラム推進協議会について</li> <li>・この町がすきプロジェクトについて</li> <li>・社会福祉審議会の選出について</li> </ul>	13

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月、9月は中止

#### イ) アクションアワード

月 日	方法	主な内容
9月1日～ 9月15日	J:COM 「あしやトライあぐる」放送	表彰団体 「甲南高等学校 ボランティア委員会」 「松浜公園ラジオ体操の会」

#### ウ) その他の活動

月 日	場所	主な内容	参加人数(人)
8月18日	市民活動センター	若者から学ぶあしやの未来 参加	9
11月7日	陽光町県営住宅 集会所	潮芦屋ふれあい秋祭り 出店（豆つかみ、アワード映像放映）、 手話披露	9

#### エ) あしや発信局玉手箱プロジェクト

月 日	場所	主な内容	参加人数 (人)
4月19日	福祉センター	第1回打合せ	8
5月17日	オンライン	第2回打合せ	5
6月12日 ～3月12日	茶屋集会所	シニア×高校生茶屋之町スマホカフェ（全6回） ※適宜Zoomによる交流会を実施（シニア7名・高校生7名） 11月実施時、他校視察2名参加有り	14人/1回 ※回により増減あり

①7月10日 ②7月12日	市民センター 福祉センター	視覚に障がいのある方のスマホの使い方勉強会（全2回） 当事者が講師として高校生へ使い方を伝える ①クラーク高校生3名、芦屋学園高等学校3名 ②県立国際高等学校2名、甲南高等学校4名 参加	18
7月8日 7月15日	朝日ヶ丘 集会所	シニア×高校生&企業講師 朝日ヶ丘町集会所スマホカフェ 集会所イベントとして実施 うち1回は警報発令のため企業講師のみの回として実施	8～31
7月24日	神戸アイライト 協会	視覚障がい者向けiPad講座 視察 甲南高等学校生 4名参加	6
8月30日	オンライン	第3回打合せ	6
9月16日	福祉センター	玉手箱×大学生 意見交換会	7
10月2日 ～1月12日	福祉センター	シニア×高校生浜芦屋町スマホカフェ（全4回）	14人/1回 ※回により増減あり
10月13日	福祉センター	第4回打合せ	6
11月11日 11月25日	市民活動センター	スマホ講座 講師：ドコモ岡本店	10数名/回
12月4日	岩ヶ平公園	落ち葉でやきいも企画実施 ※11月28日 リハーサル	114
1月19日	福祉センター	第5回打合せ&落ち葉でやきいも企画 意見交換会	8
2月28日	福祉センター	第6回打合せ	6
3月16日	福祉センター	第7回打合せ	7

#### オ) わがまちベンチプロジェクト

新規設置箇所	設置台数（台）
茶屋さくら通り（茶屋之町自治会）	1

#### カ) この町がすきプロジェクト

月 日	場所	主な内容	参加人数(人)
7月21日	市消防本部3階 多目的ホール	出前講座受講（市生涯学習課 手話歌）	10
8月10日 ～11月2日	福祉センター	手話歌練習（全3回）	2～4
8月18日	市民活動センター	「若者から学ぶ芦屋の未来」にて手話歌披露	11
11月7日	県営南芦屋浜 高層住宅前 交差点北側	「潮芦屋ふれあい秋まつり」にて手話歌披露	9 (内大学生1名)
1月12日	福祉センター	宮川幼稚園訪問へ向けて打合せ	11

2月3日	福祉センター オンライン	手話歌練習動画作成について甲南高等学校と打合せ	6 (内高校生4名)
2月18日	福祉センター オンライン	手話歌練習動画撮影について打合せ	11
2月14日 ～2月18日	福祉センター	手話歌練習動画 パート撮影	都度
3月7日	宮川幼稚園	「この町がすき」手話歌発表 撮影 ピアノ伴奏：富岡 美晴氏	約40名 (内宮川幼稚園 年長組 約30名)
3月29日～	社協HP 宮川幼稚園HP	宮川幼稚園「この町がすき」手話歌発表動画 公開	同上

○障がい児日中一時支援事業（登録者数 29名）

利用者数・実施日数・活動ボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数(日)	17	12	22	20	20	20	21	20	19	19	18	22	230
延べ利用者数(人)	68	44	84	72	76	82	82	88	82	75	71	107	931
延べボランティア数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

○ファミリー・サポート・センター事業（受託事業）

① 実施状況

ア) 会員登録人数及び活動状況

会員種別	登録人数(人)
依頼会員	826
協力会員	332
両方会員	53

活動件数	4,963件
------	--------

イ) 講座・交流会等

月 日	事業名	内 容	参加人数(人)
6月 7. 9. 16. 18日 7月 14. 16日 緊急事態宣言発令のため日程変更	協力会員養成講座	①オリエンテーション、子どもの発達と健康 ②-1おいしくて楽しい食事 ②-2子育てを取り巻く現状 ③緊急時対策と応急処置 ④保育所見学 ⑤保育のこころ ⑥事例発表、協力会員としてスタートするために	延べ69
10月 18. 20. 21. 25. 26. 28日		延べ83	

①11月27日 ②2月19日 ③3月27日	子育てお役立ち講座	①子どもと楽しむ読み聞かせのヒント 講師：おはなし♪ぼぼんた ②赤ちゃんと子どもを守る防災 講師：防災士 楠本 慶子 氏 ③「知っておきたい子どもの応急手当法」 講師：芦屋市救命救急スタッフ	①16 うち子ども5名 ※1②延期 ※2③延期
7月7日	協力会員交流会 (おしゃべりサロン)	「ころころネックレス」と意見交換 講師：帰山 陽子氏	7
12月15日		「おしゃれでかわいいしめ縄づくり」と意見交換 講師：芦屋市総合公園緑の相談員 佃 隆子 氏	14
8月28日	地区別交流会	「Tシャツでつくる簡単エコバック」 講師：tumugu 川柳 万佐子 氏	※1延期
3月12日	会員交流会	人形劇 他 出演：人形劇団 おまけのおまけ	※1延期

※1 緊急事態宣言発令、まん延防止等重点措置の適応に伴い延期としました

※2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期しました。

### ○ワンコインサロン（受託事業）

月 日	場 所	内 容	参加人数(人)
4月9日	高齢者交流室	「ナンプレ」～とにかくやってみよう！初級①～	5
4月16日		「折り紙」～兜のリース～	7
4月23日		「写経」	10
5月14日		「絵むすび」～ひらめきパズルに挑戦～	中止※1
5月21日		「マクラメ編み」～ポプリの壁掛け～	中止※1
5月28日		「ペーパークラフト」～花のクイリング～	中止※1
6月11日		「ナンプレ」～とにかくやってみよう！初級②～	6
6月18日		「体操」～座ってできるフレイル予防～	4
6月25日		「手芸」～アニマルバッグチャーム～	8
7月9日		「ナンプレ」～とにかくやってみよう！初級②～	中止※2
7月16日		「マクラメ編み」～アラビアン人形～	10
7月30日		「刺繍」～花のブローチ～	5
9月10日		「絵むすび」～ひらめきパズルに挑戦～	5
9月17日		「マクラメ編み」～ポプリの壁掛け～	8
9月24日		団体会議室2	「そろばん教室」①
10月15日	「ナンプレ」～コツを知って楽しもう！中級②～		6
10月22日	高齢者交流室	「写経」	11
10月29日		「そろばん教室」②	7
11月12日		「ナンプレ」～コツを掴んで挑戦しよう！上級～	10

11月19日	高齢者交流室	「マクラメ編み」～干支色紙・虎～	11
11月26日		「リース」～白が基調のモダンリース～	11
12月10日		「絵むすび」～ひらめきパズルに挑戦～	7
12月17日		「ちぎり絵」～干支色紙・虎～	8
12月24日		「そろばん教室」③	8
1月14日		「ナンプレ」～難問に挑戦！～	8
1月21日		「マクラメ編み」～やすこちゃん人形～	11
1月28日		「手芸」～舟形コースター～	4
2月18日		「手芸」～お出かけ用おしゃれマスク～	12
2月25日		「そろばん教室」④	8
3月11日		「ナンプレ」～超難問に挑戦！～	5
3月18日		「マクラメ編み」～虎の顔のストラップ～	9
3月25日		「ペーパークラフト」～花のクイリング～	5
合 計			215

※1 新型コロナウイルスまん延防止のため5月は中止 ※2 警報発令のため7月9日は中止

#### ○高齢者会食懇談会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

#### ○介護用品の貸出

車いすの貸出

事務局取扱分 91件

各町設置車いすの貸出と点検 随時

(民生児童委員、福祉推進委員または、自治会で管理)

#### ○地域子ども会活動助成

25子ども会 359,000円

#### ○あじさいの会（認知症の人を支える家族の会）活動支援

定例会へ出席し情報交換（毎月1回）

#### ○社会を明るくする運動協賛

社会を明るくする運動に協賛・標語パネルを掲示（7月1日～31日）

### 3 相談支援

#### ○総合相談窓口（受託事業）

##### ア) 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	128	140	192	130	174	176	78	73	60	48	40	31	1,270
2回目以降	20	28	35	15	35	42	71	69	19	17	37	57	445
合計	148	168	227	145	209	218	149	142	79	65	77	88	1,715

##### イ) 相談内容（重複含む）

相談内容	件数(件)	相談内容	件数(件)
介護保険・福祉制度	30	介護予防	0
生活（衣食住）	7	就労	6
経済・法律問題	1,125	役所の手続き	12
家族との関係	12	社会的孤立	0
健康・病院	19	不安・話し相手	9
メンタルヘルス	6	その他	67

##### ウ) 総合相談連絡会の開催

月1回定例開催 9回開催

※新型コロナウイルスの影響により、8月、9月、2月は開催中止

#### ○生活困窮者自立相談支援事業（受託事業）

##### ア) 自立相談支援事業（継続相談）における支援状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立相談件数	15	11	20	12	16	13	10	9	16	12	8	12	154
プラン件数	0	7	5	5	0	11	4	5	6	4	2	4	53
住居確保給付金 （再支給申請）	3 12	2 16	1 3	3 3	1 3	2 1	3 3	1 1	1 1	1 1	1 0	1 1	20 45
就労準備支援事業	0	1	1	0	0	2	0	2	1	0	1	0	8
子どもの学習・生活支援事業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
生活福祉資金貸付事業	0	3	3	3	0	2	4	1	1	3	0	3	23
生活保護受給者等 就労自立促進事業	0	2	1	0	0	2	1	0	2	2	0	0	10



イ) 定例支援調整会議、個別支援調整会議、市役所庁内連携会議

会議名称	頻 度	開催回数 (回)
定例支援調整会議	月1回	9
ケースレビュー会議	年2回	1

※新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催、中止あり

ウ) 自立相談支援事業事例検討会の開催

内容	頻 度	開催回数 (回)
事例検討会 SV：神戸学院大学教授 阪田 憲二郎 氏	2か月1回	6

※オンライン開催のみ

エ) 社会的孤立支援

- ・高校卒業後の相談窓口周知

高校等訪問 (就労準備支援事業同行)	芦屋大学 (就労準備支援事業担当者のみで訪問)
	甲南大学
	クラーク記念国際高等学校

- ・「ひだまりの会～子どもを思いやる親の会～」開催

月 日	内 容	参加人数 (人)
6月23日	情報交換 コロナ禍での生活状況について	2
7月28日	情報交換 生活状況と子どもの様子について	3
10月27日	情報交換 コロナ禍での生活状況について	3
11月24日	情報交換 生活状況と子どもの様子について	3
12月22日	情報交換 クリスマスを楽しもう	3
3月23日	情報交換 近況について	2

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月、5月、8月、9月、1月、2月は中止

オ) 生活困窮者自立支援推進協議会への参画

月 日	会議名
7月13日	第1回芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による相談実績及び課題について ・芦屋市におけるヤングケアラー支援にかかる取組について
3月16日	第2回芦屋市生活困窮者自立支援推進協議会 ・第4次地域福祉計画にかかる重層的支援体制整備事業について

カ) 説明会・研修会開催

月 日	対象者	内容
5月12日 19日	生活援護課 生活保護ケースワーカー 自立相談支援機関相談員、地域福祉係CSW	生活保護制度と生活困窮者自立支援事業について (研修)
7月15日 16日 19日	県立芦屋高校生	県立芦屋高校の授業の一環として、テーマ別研究を実施 ・ 養護施設の子はなぜ進学率が低いのか ・ 貧困の子どもたちはどのように生活しているのか ・ 社会保障について
3月31日	芦屋市シルバー人材センター ・ 福祉・家事援助グループ	芦屋市出前講座 「生活困窮者支援と地域づくり」

○生活福祉資金貸付事業（受託事業）

ア) 兵庫県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

種 別	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定金額
福祉資金	27	1	1	69,000
教育支援資金	424	9	9	8,930,600
緊急小口資金	1,397	通常分 2 コロナ特例 190	通常分 1 コロナ特例 180	35,230,000
総合支援資金		初回 190 再貸付 316	初回 187 再貸付 314	272,200,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
不動産担保型融資	0			

イ) 教育支援資金在学確認面談

実施時期	実施対象者（人）
8月1日～31日	25
3月1日～31日	16

ウ) 芦屋市生活福祉資金貸付事業

	決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金	2	20,000円

○民生児童委員活動との連携



ア) 福祉を高める運動の推進（9月、10月にブロックごとに実施）＊対象世帯（重複あり）

内 容	世帯数（件）
(ア) 経済的な問題を抱える世帯	16
(イ) 障がい（児）者の問題を抱える世帯	31
(ウ) 介護等の問題を抱える世帯	9
(エ) ひとり暮らしで問題を抱える世帯	96
(オ) 児童の問題を抱える世帯	7
(カ) その他何らかの問題を抱える世帯	71

イ) 低所得世帯に対する自立のための援助金交付

・夏季援助（共同募金一般配分金）

世帯構成	世帯数（件）
1人世帯	5
2人世帯	4
3人世帯	5
4人世帯	0
5人世帯	1
6人世帯	1
7人世帯	0
合 計	16

・歳末たすけあい（歳末たすけあい募金）

世帯構成	世帯数（件）
1人世帯	5
2人世帯	3
3人世帯	5
4人世帯	1
5人世帯	1
6人世帯	1
7人世帯	0
合 計	16

ウ) 芦屋市民生児童委員



芦屋市民生児童委員協議会に対する活動費の交付 100,000円

#### 4 障がい相談支援事業

##### ○障がい者基幹相談支援センター（受託事業）

##### ア) 相談者数（本会相談員分）

種 別	延べ人数（人）
身体	29
知的	74
精神	110
発達	45
その他	22
計	280

##### イ) 支援の方法（本会相談員分）

内 容	延べ相談回数（件）
訪問	309
来所	233
同行	56
電話相談	1,273
電子メール	68
個別支援会議	49
関係機関	964
その他	63
合 計	3,015

\*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

##### ウ) 相談の内容（本会相談員分）

内 容	相談回数(件)	内 容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,459	家計・経済に関する支援	120
障がいや症状の理解に関する支援	275	生活技術に関する支援	215
健康・医療に関する支援	389	就労に関する支援	24
不安の解消・情緒の安定に関する支援	244	社会参加・余暇活動に関する支援	21
保育（療育）・教育に関する支援	94	権利擁護に関する支援	88
家族関係・人間関係に関する支援	160	その他	95
		合 計	3,184

\*相談1件につき支援内容が複数の場合有

##### エ) 虐待ケースの支援内容（通報件数6件・本会相談員分）

区 分	回数（回）
訪問	33
来所	13
同行	15
電話相談	48
電子メール	0
個別支援会議	65
関係機関	83
その他	5
合計	262

内 容	回数 (回)
事実確認	47
安否確認	4
状況・実態把握	124
被虐待者の相談	15
養護者の相談	9
福祉サービスの利用支援	7
年金・医療の手続き支援	2
福祉サービス利用援助事業	3
その他の生活支援	1
債務整理	0
消費者被害	0
法律職紹介・法テラス	0
成年後見申立支援	1
成年後見市長申立	1
立ち入り調査	0
やむを得ない措置	1
面会制限	0
その他	99
合計 (回)	314

○障がい者相談支援事業（受託事業）

ア) 相談者数

種 別	延べ人員 (人)
身体	46
知的	52
精神	120
発達	98
その他	26
計	342

イ) 支援の方法

内 容	延べ相談回数 (件)
訪問	208
来所	310
同行	36
電話相談	893
電子メール	90
個別支援会議	22
関係機関	2,190
その他	75
合 計	3,824

\*相談者1人に対して、支援方法が複数の場合有

ウ) 相談の内容

内 容	相談回数(件)
福祉サービス利用等に関する支援	1,802
障がいや症状の理解に関する支援	640
健康・医療に関する支援	486
不安の解消・情緒の安定に関する支援	454
保育（療育）・教育に関する支援	127
家族関係・人間関係に関する支援	345
家計・経済に関する支援	207
生活技術に関する支援	213
就労に関する支援	215
社会参加・余暇活動に関する支援	101
権利擁護に関する支援	88
その他	13
合 計	4,691

\*相談1件につき支援内容が複数の場合有

○指定特定相談・指定障害児相談事業（介護給付費）

計画件数

新規 継続	成人 児童	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (件)
新規 ・ 更新	成人	22	20	27	22	17	14	15	21	26	18	22	24	248
	児童	9	12	11	15	18	10	19	16	14	23	12	21	180
継続 (モニタ リング)	成人	45	48	47	46	62	55	50	55	60	55	58	45	626
	児童	23	30	31	32	25	41	32	31	30	35	30	42	382

5 権利擁護支援

○権利擁護支援センター事業（受託事業）

ア) 権利擁護専門相談

- ①法律職（弁護士、司法書士）と福祉職（社会福祉士等）による協働型権利擁護専門相談  
定期相談、臨時相談（相談件数 74件）
- ②専門相談員（社会福祉士等）による相談支援  
（相談件数4,170件、新規305件、継続3,865件）
- ③電話や来所により、権利擁護及び成年後見制度に関する相談

イ) 権利擁護専門支援事業

虐待等、権利侵害に対する専門的な支援

虐待通報件数 高齢者 94件 (養護者 89件、施設従事者5件)

障がい者 34件 (養護者 32件、施設従事者2件)

ウ) 人材バンク登録者

登録者数 79名

後見活動支援員フォローアップ研修 3/2

権利擁護支援者養成研修公開講座 1/29

にしのみや権利擁護推進フォーラム 2/19

芦屋市権利擁護フォーラム YouTube配信 3月

エ) 介護サービス相談員派遣事業

8月から試行的に1施設でオンライン面談を開始。月に1回2名が介護サービス相談員活動を行った。

12月から1施設追加。

活動人員 登録34名、活動9名

活動協力施設 2施設

全体会として顔合わせ 7/30、12/2

中間会議 なし

活動協力施設へのヒアリング調査 なし

介護相談員フォローアップ研修 3/2 Zoom配信

総括会議 延期

オ) 障がい者福祉施設等相談員派遣事業

1施設を5～6名の相談員が担当し、月に1回を目安に活動を行う。

活動人員 登録12名

活動協力施設 3施設

新任相談員研修会 10/1

フォローアップ研修 3/2 Zoom配信

現場実習 なし

全体会 10/1

総括会議 延期

カ) 終活支援事業「ろーすくーるAshiya」

65歳以上の市民を対象に、高齢期の生活と健康、人生の終わりに準備すべき内容についての講座

10/21～11/18のうち5日間開催

キ) 権利擁護支援センター運営委員会、専門委員会の開催

月 日	会議名
1月20日	権利擁護支援センター運営委員会
3月1日	権利擁護支援センター専門委員会

ク) 権利擁護支援センターの開催研修

月 日	主な内容	開催場所
7月15日～ 10月4日	虐待対応従事者研修	オンライン
8月23日	権利擁護と虐待（行政・包括・障がい相談員向け研修）	オンライン
12月10日	障がい福祉サービス等従事者向け虐待防止研修	芦屋市民センター
2月28日	ケアマネ向け虐待対応研修	オンライン

ケ) 権利擁護支援センターの講師派遣

6/28～1/24 令和3年度芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修 3回

7/27 東山手「知って安心！ 高齢者の生活知恵袋」

11/29 民生児童委員協議会研修

コ) 法人後見 法人後見受任 3件

サ) 市民後見 市民後見人選任 2人

シ) 後見監督 後見監督受任 2件

○福祉サービス利用援助事業（受託事業）

ア) 契約件数

契約件数	34件
新規契約	8件
解約件数	5件

イ) 相談対応件数（職員訪問件数含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
対応件数	358	293	362	396	403	391	326	354	425	351	381	388	4428

ウ) 生活支援員(12名)派遣回数 588回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(回)
派遣回数	34	34	41	36	39	45	65	68	65	62	49	50	588



エ) 利用契約者に関するケース会議 23回

オ) 成年後見制度活用支援のため、権利擁護支援センターとの連絡調整 6回

カ) 関係機関との連絡調整 随時

キ) 生活支援員交流会 開催無し

ク) 日常生活自立支援事業における現金及び預り通帳・印鑑の取扱いにかかる自主チェック事業  
(10/7)

#### ○財産保全サービス事業

契約件数	6件
新規契約	1件
解約件数	3件

#### ○福祉サービスに関する苦情対応

規程に基づき、苦情受付担当者、苦情解決責任者を選任  
中立性、客観性の確保のため、第三者委員を設置

## 6 介護保険事業

### ○地域包括支援センター

#### 1) 相談対応状況

開所日数	243日
相談対応日数	277日
相談実人数	2,381人
相談延人数	6,167人

#### 2) 対象者内訳（延件数）

	新規	継続	合計
未認定	361	2,280	2,641
事業対象者	2	383	385
認定	94	3,047	3,141
合計	457	5,710	6,167

#### 3) 対応方法内訳（延件数）

		新規	継続	合計
センター内	電話	312	3,721	4,033
	来所	115	406	521
	その他	15	135	150
センター外	訪問	13	1,116	1,129
	会議	1	148	149
	その他	1	184	185

#### 4) 高齢者虐待対応（延件数）

通報（新規実件数）		26
対応内訳	事実確認	68
	支援・対応・連絡調整等	468
	通報共有ミーティング	26
	コアメンバー会議	23
	虐待対応個別ケース会議	10
	終結・終了会議	0
合計		595

#### 5) 個々の介護支援専門員へのサポート

相談実人数（ケアマネ人数）	49
相談延件数	56

内 訳	社会資源の情報提供	18
	援助関係について	25
	同行訪問	0
	ケアプラン作成支援	4
	サービス担当者会議同席	2
	その他	7

#### 6) 地域ケア会議の開催

	包括ケース	ケアマネケース
地域ケア会議	1	3

#### 7) ネットワークづくり（個別支援を除く）

	会議	行事	啓発等
フォーマル	66	0	2
インフォーマル	1	3	11

#### 8) 介護予防教室

参加人数	63	延参加人数	206	教室開催回数	19
------	----	-------	-----	--------	----

#### 9) 相談対応・連絡調整等の対象者や関係機関

	新規	継続
本人	94	2,386
家族	207	1,537
医療機関	44	472
民生委員・福祉推進委員	21	142
地域団体等(自治会・老人会等)	0	3
関係機関・行政	26	517
関係機関・行政以外	23	218
介護支援専門員（他包括・施設ケアマネ含む）	27	610
サービス提供事業所職員	2	708
近隣・知人（家政婦含）	8	131
権利擁護関係機関	2	193
地域みまもりネット登録事業者	2	10
その他	1	3
合計	457	6,930

10) 相談対応・連絡調整等内容

	新規	継続
介護保険に関すること	319	3,038
総合事業に関すること（チェックリスト実施を含む）	9	440
一般（高齢者）施策に関すること	14	78
地域資源に関すること	20	154
障がい者福祉制度・サービス等に関すること	1	73
一般介護予防事業に関すること	12	65
健康（保健・医療）に関すること	141	1,985
施設（入所）に関すること	13	114
認知症に関すること	53	637
経済に関すること	5	106
高齢者以外の人に関すること	15	106
複合支援（世帯内で複数の問題を抱えるもの）	3	95
権利擁護支援に関すること	11	158
苦情相談	0	2
安否確認	2	31
状況確認	5	97
実態把握	1	107
直接的支援（やむを得ない通院介助等）	0	112
その他	0	0
合計	624	7,398

○訪問介護事業

総計 (①+②+③+④)	合計	対前年度比較	
利用者数	2,042	2,175	93.8%
派遣回数	18,347	19,535	93.9%
派遣時間数	19,157.8	20,865.0	91.8%
新規ケース	55	57	96.4%
収入(千円)	70,274	75,799	92.7%
①介護保険訪問介護、総合事業訪問型サービス	合計	対前年度比較	
利用者数	1,429	1,600	89.3%
派遣回数	14,064	15,180	92.6%
派遣時間数	13,721.5	15,467.0	88.7%
新規ケース	32	38	84.2%
収入(千円)	53,076	56,835	93.3%
②障害福祉サービス居宅介護、重度訪問介護、同行援護	合計	対前年度比較	
利用者数	261	251	103.9%
派遣回数	3,072	3,056	100.5%
派遣時間数	4,155.0	4,192.8	99.0%
新規ケース	8	3	266.6%
収入(千円)	14,383	14,394	99.9%
③芦屋市受託事業(移動支援、高齢者見守り、母子父子ヘルプ、育児支援等)	合計	対前年度比較	
利用者数	84	45	186.6%
派遣回数	285	194	146.9%
派遣時間数	595.5	448.8	132.6%
新規ケース	7	2	350.0%
収入(千円)	1,472	1,133	129.9%
④独自事業(有償ヘルプサービス)	合計	対前年度比較	
利用者数	268	279	96.0%
派遣回数	926	1,105	83.8%
派遣時間数	685.8	762.5	89.9%
新規ケース	8	14	57.1%
収入(千円)	1,343	1,534	87.5%

※千円未満切捨、小数点第2位切捨

○訪問看護事業

総計 (①+②+③)	合計	対前年度比較	
利用者数	1,460	1,411	103.4%
派遣回数	9,143	8,465	108.0%
派遣時間数	7,112.8	6,561.1	108.5%
新規ケース	90	91	98.9%
収入(千円)	73,604	69,564	105.8%
①介護保険訪問看護	合計	対前年度比較	
利用者数	1,075	1,020	105.3%
派遣回数	5,602	5,013	111.7%
派遣時間数	3,969.5	3,636.6	109.1%
新規ケース	41	47	87.2%
収入(千円)	41,206	38,258	107.7%
②医療保険訪問看護	合計	対前年度比較	
利用者数	383	381	100.5%
派遣回数	3,287	3,307	99.3%
派遣時間数	3043.5	2,851.5	106.7%
新規ケース	48	44	109.0%
収入(千円)	30,930	30,447	101.5%
③芦屋市受託事業 (医療的ケア児)	合計	対前年度比較	
利用者数	2	1	200.0%
派遣回数	254	145	175.1%
派遣時間数	109.8	73.0	150.4%
新規ケース	1	0	0
収入(千円)	1,468	828	177.2%

※千円未満切捨、小数点第2位切捨

○訪問看護事業(令和3年度のみ受託事業)

芦屋市受託事業 (精道病児保育)	合計	対前年度比較	
利用者数	96	0	
派遣回数	95	0	
派遣時間数	997.5	0	
新規ケース			
収入(千円)	3,002	0	

○居宅介護支援事業

	合計	対前年度比較	
		前年度	対前年度比較
予防給付	300	391	76.7%
要介護1	1,216	1,210	100.4%
要介護2	578	703	82.2%
要介護3	480	434	110.5%
要介護4	249	253	98.4%
要介護5	213	230	92.6%
合計	3,036	3,221	94.2%
収入(千円)	53,998	54,793	98.5%

※千円未満切捨、小数点第2位切捨

○通所介護事業

総計	合計	対前年度比較	
		前年度	対前年度比較
開設日数	304	305	99.6%
利用者数	653	643	101.5%
延利用者数	5,388	5,475	98.4%
1日平均利用者数	17.72	17.95	98.7%
収入(千円)	47,572	45,784	103.9%
①介護保険通所介護	合計	対前年度比較	
利用者数	549	546	100.5%
延利用者数	4,820	4,906	98.2%
1日平均利用者数	15.86	16.09	98.5%
収入(千円)	44,613	42,967	103.8%
②総合事業通所型サービス	合計	対前年度比較	
利用者数	63	53	118.8%
延利用者数	568	569	99.8%
1日平均利用者数	1.86	1.86	100.0%
収入(千円)	2,956	2,817	104.9%

※千円未満切捨、小数点第2位切捨 ※当該表は昼食費等を除く

○介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

総計	合計	対前年度比較	
介護予防支援	3,459	3,212	107.6%
ケアマネジメントA	1,805	1,790	100.8%
ケアマネジメントB	372	471	78.9%
合計	5,636	5,473	102.9%
収入(千円)	22,762	20,860	109.1%
地域包括支援センター直営	合計	対前年度比較	
介護予防支援	2,768	2,377	116.4%
ケアマネジメントA	1,441	1,390	103.6%
ケアマネジメントB	342	436	78.4%
合計	4,551	4,203	108.2%
居宅介護支援事業所委託	合計	対前年度比較	
介護予防支援	691	835	82.7%
ケアマネジメントA	364	400	91.0%
ケアマネジメントB	30	35	85.7%
合計	1,085	1,270	85.4%

※千円未満切捨、小数点第2位切捨

○要介護認定調査、障害支援区分認定調査

	合計	対前年度比較	
要介護認定調査	388	453	85.6%
障害区分調査	5	4	125.0%
合計	393	457	85.9%

※小数点第2位切捨

○高齢者住宅等安心確保事業(LSA)

総計	合計	対前年度比較	
実施日数	365	365	100.0%
安否確認訪問	4,617	4,579	100.8%
緊急通報作動	126	57	221.0%
援助活動	1,663	1,383	120.2%
関係機関連絡調整	418	350	119.4%

※小数点第2位切捨



## ○紙おむつ給付・宅配サービス

	合計	対前年度比較	
新規登録数	46	32	143.7%
延配布者数	1,180	1,125	104.8%
廃止数	32	35	91.4%
合計	1,258	1,192	105.5%

※小数点第2位切捨

## 7 法人運営

### ○理事会開催状況（理事定数 14人）

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
4月9日 (第1回)	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部を改正する定款の制定について</li> <li>・臨時評議員会の招集について</li> </ul>	理事12名 監事2名 事務局4名
4月25日 (第2回)	書面決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会の招集決議の撤回について</li> <li>・臨時評議員会の決議の省略による開催について</li> </ul>	書面決議
6月2日 (第3回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第2次)について</li> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第3次)について</li> <li>・障がい者相談支援事業所 指定障害児相談支援事業運営規程等の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・芦屋ハートフル居宅介護等事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・評議員選任・解任委員会運営細則の一部を改正する細則の制定について</li> <li>・嘱託職員就業規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・職員給与規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和2年度事業報告の承認について</li> <li>・令和2年度計算書類及び財産目録の承認について</li> </ul>	理事13名 監事2名 事務局4名
6月18日 (第4回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の選定について</li> <li>・副会長の選定について</li> <li>・常務理事の選定について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員・選任解任委員の選定について</li> <li>・評議員・選任解任委員会の招集について</li> <li>・部会の設置及び構成並びに委員会の設置及び構成について</li> </ul>	理事13名 監事2名 事務局3名

9月14日 (第5回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和3年度資金収支補正予算(第1次)について</li> <li>・地域福祉活動に係る助成要綱の一部を改正するする要綱の制定について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員・選任解任委員会の招集について</li> <li>・理事による利益相反取引について</li> </ul>	理事13名 監事2名 事務局3名
11月17日 (第6回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有償在宅福祉サービス事業運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和3年度資金収支補正予算(第2次)について</li> <li>・臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定について</li> </ul>	理事12名 監事2名 事務局3名
2月2日 (第7回)	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋ハートフル訪問介護事業所運営規程(移動支援)の制定について</li> <li>・定款の一部を改正する定款の制定について</li> </ul>	理事10名 監事2名 事務局3名
3月10日 (第8回)	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・障がい者相談支援事業所指定一般相談支援事業運営規程等の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・虐待防止委員会運営規程の制定について</li> <li>・令和4年度事業計画の承認について</li> <li>・令和4年度資金収支予算の承認について</li> <li>・第8次地域福祉推進計画の制定について</li> <li>・令和3年度3月評議員会の招集について</li> </ul>	理事12名 監事2名 事務局3名

○評議員会開催状況(評議員定数 24人)

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
4月30日 臨時評議員会	書面決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部を改正する定款の制定について</li> </ul>	書面決議
6月18日 定時評議員会	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第2次)について</li> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第3次)について</li> <li>・令和2年度事業報告の承認について</li> <li>・令和2年度計算書類及び財産目録の承認について</li> <li>・役員を選任について</li> </ul>	評議員16名 理事3名 監事2名 事務局3名
3月18日 3月評議員会	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度資金収支補正予算(第1次)について</li> <li>・令和3年度資金収支補正予算(第2次)について</li> <li>・定款の一部を変更する定款の制定について</li> <li>・令和4年度事業計画の承認について</li> <li>・令和4年度資金収支予算の承認について</li> </ul>	評議員14名 理事3名 監事2名 事務局3名

### ○正副会長会

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
5月24日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第2次)について</li> <li>・令和2年度資金収支補正予算(第3)について</li> <li>・障がい者相談支援事業所 指定障害児相談支援事業運営規程等の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・芦屋ハートフル居宅介護等事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・評議員選任・解任委員会運営細則の一部を改正する細則の制定について</li> <li>・嘱託職員就業規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・職員給与規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和2年度事業報告の承認について</li> <li>・令和2年度計算書類及び財産目録の承認について</li> </ul>	<p style="text-align: center;">会長副会長3 事務局3</p>
8月25日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>・令和3年度資金収支補正予算(第1次)について</li> <li>・地域福祉活動に係る助成要綱の一部を改正する要綱の制定について</li> <li>・評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員・選任解任委員会の招集について</li> <li>・理事による利益相反取引について</li> </ul>	<p style="text-align: center;">会長副会長3 事務局3</p>

### ○正副会長・監事会

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
10月18日	福祉センター	第5回理事会第3号議案「社会福祉法人芦屋市社会福祉協議会理事による利益相反取引について」の取扱いについて	<p style="text-align: center;">会長副会長3 監事2 事務局2</p>

### ○評議員選任・解任委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数（人）
6月18日	福祉センター	評議員の選任について	<p style="text-align: center;">委員4 会長1 常務1 事務局1</p>
9月14日	福祉センター	評議員の選任について	<p style="text-align: center;">委員5 会長1 常務1 事務局1</p>

○監査

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
5月20日	福祉センター	令和2年度事業及び会計執行状況の監査	会長1・常務1 監事2・事務局5
11月12日	福祉センター	令和3年度中間監査	会長1・常務1 監事2・事務局5

○部会・委員会の開催状況

ア) 総務部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
1月14日	福祉センター	三条デイサービス送迎業務委託について	部会員4 事務局3

イ) 事業部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
8月6日	福祉センター	・夏季援助について ・子ども会活動助成について ・園児・児童・生徒等の福祉学習助成について ・老人福祉月間行事(市敬老会記念品)について	部会員5 事務局3
12月6日	福祉センター	・令和3年度 歳末たすけあい事業配分について ・紙おむつ給付事業について	部会員4 事務局4
2月7日	福祉センター	・紙おむつ給付事業について ・地域福祉活動に係る助成要綱の改正について	部会員5 事務局4

ウ) 編集検討委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
6月9日	福祉センター	・社協だより162号の振り返り ・社協だより163号の原稿内容について ・社協だより164号の記事内容について	7
8月20日	福祉センター	・社協だより163号の振り返り ・社協だより164号の原稿内容について ・社協だより165号の記事内容について	8
12月2日	福祉センター	・社協だより164号の振り返り ・社協だより165号の原稿内容について ・社協だより166号の記事内容について	8
3月3日	福祉センター	・社協だより165号の振り返り ・社協だより166号の原稿内容について ・社協だより167号の記事内容について	8

## 工) 衛生委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
4月22日	オンライン	職員衛生委員会について	12
5月27日	オンライン	P C R検査キットの導入及び運用方法について	10
6月28日	オンライン	令和3年度ストレスチェックの実施について	11
7月29日	オンライン	季節の予防(夏バテ・熱中症予防)について	11
8月26日	オンライン	ハラスメントについて	9
9月29日	オンライン	職場環境を考える～ほめることの効果～	10
10月27日	オンライン	令和3年度年次有給休暇の取得状況について	11
11月24日	オンライン	インフルエンザ予防と予防接種について	10
12月23日	オンライン	令和3年度ストレスチェックの結果を踏まえた予防について	9
1月26日	オンライン	年次有給休暇の取得状況について(R3.12.31時点) 濃厚接触時の待機期間等について	7
2月22日	オンライン	安全運転と新しいルールについて	9
3月22日	オンライン	超簡易版BCP「これだけは！」シートについて	10

## ○第8次地域福祉推進計画策定委員会・作業部会

### ア) 策定委員会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
7月29日 (第1回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋市第4次地域福祉計画策定を踏まえた推進計画のあり方</li> <li>・福祉公社と統合した社協の推進計画としての新たな検討課題</li> <li>・第7次地域福祉推進計画の評価の反映</li> <li>・今後の策定スケジュールについて</li> </ul>	10 (うちアドバイザー-2)
9月22日 (第2回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画づくりについて</li> <li>・川西市社協 地区活動計画について</li> <li>・地域づくりを進めるための生活支援コーディネーターと専門機関の住民との関わりについて</li> <li>・相談支援部門の機能の整理とこれからの多機関協働の進め方</li> </ul>	11 (うちアドバイザー-2) 川西市社協1
11月9日 (第3回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区活動計画づくりについて</li> <li>・生活支援コーディネーターと社協地区担当との連携について</li> <li>・「相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」の展開について</li> </ul>	11 (うちアドバイザー-3) 川西市社協1
1月18日 (第4回)	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協計画の推進目標及び取り組み項目の策定経緯について</li> <li>・推進目標と取り組み項目についての協議</li> <li>・計画の原案について</li> </ul>	12 (うちアドバイザー-3)

イ) 作業部会

月 日	場 所	内 容	出席人数(人)
6月28日	福祉センター	地域福祉推進計画策定に係る体制説明及び意見交換	11
9月8日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回委員会の報告</li> <li>・推進計画の性格について</li> <li>・委託事業を社協らしいものに組み替えていく</li> <li>・社協の中での地域貢献をどのようにしていくか</li> <li>・「相談支援の強化」と「参加支援のつなぎ」</li> </ul>	9
10月11日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回委員会の報告</li> <li>・地区の活動計画づくりについて</li> <li>・地区の活動計画づくりへの参画の仕方</li> </ul>	7
12月15日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回委員会の報告</li> <li>・市地域福祉計画の推進目標達成に関連する事業・活動の確認と共有の作業（個人ワーク・グループワーク）</li> </ul>	9
12月20日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回委員会の報告</li> <li>・市地域福祉計画の推進目標達成に関連する事業・活動の確認と共有の作業（個人ワーク・グループワーク）</li> </ul>	8
12月23日	木口記念会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市計画の推進目標に関連する社協事業の共通項目、カテゴリーから取り組み項目を検討（グループワーク）</li> </ul>	8
2月1、7日	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回委員会の報告</li> <li>・地域福祉推進計画の目標及び取組項目の共有と意見交換</li> </ul>	8

○県社協等の主催する会議への出席

月 日	場 所	名称	内 容
5月17日	オンライン	第1回県内社協事務局長会議	県社協2025年計画と令和3年度重点事業について 社協の組織経営の現状と課題について
12月3日	オンライン	第3回県内社協事務局長会議	令和3年度『ひょうごの地域福祉の現況調査』を踏まえた 今後の社協活動について 包括的な支援体制づくりに向けた取り組みについて
2月25日	オンライン	第4回県内社協事務局長会議	市町社協を取り巻く状況とこれからの組織経営について 共生のまちづくりに向けた重点的な取組について
3月2日	オンライン	社協経営セミナー	社協の財政状況等を踏まえた今後の方向性 社協組織の基盤強化に向けた取り組みの実際
11月18日	尼崎市社協	第1回阪神7市1町社会福祉協議会会長・理事長会	市町社協を取り巻く状況とこれからの組織経営について “共生のまちづくり”に向けた重点的な取り組みについて

## ○職員研修

### ア) 総務係

月 日	場 所	名 称	
7月29日	大阪	社会福祉法人会計セミナー 基礎編	太田
9月17日	大阪	社会福祉法人会計セミナー 実践編	太田
1月28日	県社協	会計実務担当者研修（予算・決算編）	太田
2月23日～ 2月27日	オンライン	市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究会 2022	竹林

### イ) 地域福祉係

月 日	場 所	名 称	内 容	
4月20日 ～8月10日	オンライン	生活支援コーディネーター 養成講座（全12回）	・制度の理解、地域への入り方、地域 資源の見える化など	池原 寺岡
12月7日	神戸国際会館	生活支援コーディネーター 実践セミナー	・業務の上で感じるモヤモヤへの対応 など	池原
8月25日	オンライン	包括的支援体制づくり セミナー	・包括的な支援体制の構築に向けた改 正社会福祉法の意義と行政・社協の役 割 ・重層的支援体制整備事業の取組の実 際	宮平
9月6日	オンライン	全国福祉教育推進員研修	・多様な人と協働しながら進める福祉 教育プラットフォームについて ・福祉教育プログラムを磨く ・福祉教育ネットワークを考える ・福祉教育ネットワークを考える	宮平 塚本
12月18日	オンライン	市町村社協法制化40周年を 迎える社会福祉協議会の 位置と役割	・市区町村社協実践報告（豊島区、笛 吹市、世田谷区、氷見市） ・都道府県社協実践報告（香川県、兵 庫県）	宮平
1月31日	オンライン	社協ワーカー実践研究会議	・地域福祉推進計画を巡る現状と課題 ・計画担当者が抱える実践課題とは ・わが社協の計画活動の進め方	宮平

### ウ) 生活困窮者自立相談支援事業

月 日	場 所	名 称	
9月27日～ 12月3日	オンライン	生活困窮者自立支援制度人材養成研修	黒田 井上
10月16日	オンライン	「ひきこもりと家族」講演会	三谷
11月13日～27日	オンライン	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	三谷

1月12日	オンライン	合宿訓練オンライン説明会	三谷
1月14日	福祉センター	パーソナリティ障害に関する研修	黒田
2月17日～ 27日	オンライン	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会 実践編	三谷
2月	オンデマンド	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 テーマ別（ひきこもり状態にある者への支援について）	三谷 黒田
2月25日	オンライン	阪神子育て応援ネットSOSキャッチ専門研修	三谷
3月1日	オンライン	社会福祉における外国人支援～分野を横断した支援体制づくりのために～	三谷
3月10日～ 11日	オンライン	クローバー CRAFTプログラム研修	黒田

### エ) 基幹相談支援センター

月 日	場 所	名 称	
6月11日～ 27日 (5日間)	オンライン	主任相談支援専門員養成研修	三芳
9月6日～ 9日 (3日間)	オンライン	医療的ケアコーディネーター養成研修	三木
9月22日	福祉センター	支援者対象ペアレントトレーニング研修	佐野
10月27日	オンライン	全国基幹相談支援センター研修	三芳
11月5日～ 22日 (5日間)	兵庫県立 のじぎく会館	ひょうごいのちとこころを支える相談職員養成研修会	寺岡
11月15日	オンライン	BCP策定・運用のポイント研修	三芳
11月19日	オンライン	基幹相談支援センターの今後の在り方研修	三芳
12月8日	オンライン	相談支援体制充実機能研修	三芳 佐野
1月15日	オンライン	災害等緊急時における多角的支援研修	三木
3月1日	オンライン	阪神圏域相談支援フォローアップ圏域研修	三芳
3月2日	オンライン	対人支援でおさえたい基本姿勢研修	三芳
3月11日	オンライン	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	三芳

### オ) 障がい者相談支援事業所（一般相談）

月 日	場 所	名 称	
7月26日	オンライン	医療・教育・福祉連携研修	安藤
9月27日	オンライン	ペアレンツクラブ研修	安藤・津田



11月5日～ 22日 (5日間)	兵庫県立 のじぎく会館	ひょうごいのちとこころを支える相談職員養成研修会	安藤
12月8日	オンライン	相談支援体制充実機能研修	津田
1月15日	オンライン	災害等緊急時における多角的支援研修	津田
3月1日	オンライン	阪神圏域相談支援フォローアップ圏域研修	安藤

#### カ) 障がい者相談支援事業所（計画相談）

月 日	場 所	名 称	
9月22日	芦屋市保健福祉 センター	支援者対象ペアレントトレーニング研修	鈴木
9月27日	オンライン	ペアレンツクラブ研修	川上
11月16日	オンライン	医療的ケア児関連法研修	鈴木
12月1日～ 2月17日 (3日間)	オンライン	トラウマインフォームドケア研修	天羽 鈴木
1月15日	オンライン	災害等緊急時における多角的支援研修	天羽
1月17日	芦屋市男女共同 参画センター	自殺予防研修	天羽
3月11日	オンライン	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	鈴木

#### キ) 権利擁護支援センター事業

月 日	場 所	名 称	
2月17日～ 21日	オンライン	成年後見制度利用促進体制整備研修（応用研修）	見崎
2月19日	オンライン	にしのみや権利擁護推進フォーラム	見崎
3月18日	オンライン	後見事務における意思決定支援	見崎
3月24日	オンライン	県社協権利擁護推進フォーラム	見崎

#### ク) 生活福祉資金貸付事業

月 日	場 所	名 称	
1月12日	兵庫県福祉セ ンター	生活福祉資金貸付担当者会議 社会における生活困窮者支援を考えよう ～新型コロナウイルス特例貸付から～	三谷

#### ケ) 日常生活自立支援事業

月 日	場 所	名 称	
6月22日	オンライン	日常生活自立支援事業専門員web意見交換会 第1回	野口

7月20日	兵庫県福祉センター	日常生活自立支援事業専門員会議	吉田
7月27日	オンライン	日常生活自立支援事業専門員web意見交換会 第1回Ⅱ	野口
10月29日	兵庫県農業共済会館	日常生活自立支援事業専門員会議	吉田
2月10日	オンライン	日常生活自立支援事業専門員会議	野口

## ○市関係会議への出席

### ア) 役員出席

- ・ 芦屋市社会福祉審議会
- ・ 芦屋市社会福祉審議会地域福祉部会
- ・ 芦屋市地域福祉推進協議会
- ・ 芦屋市民生委員推薦会
- ・ 芦屋市自立支援協議会
- ・ 芦屋市権利擁護支援システム推進委員会
- ・ 芦屋市人権教育推進協議会
- ・ 芦屋市子ども・子育て会議
- ・ “社会を明るくする運動”芦屋市推進委員会
- ・ 芦屋市要保護児童対策地域協議会 代表者会

### イ) 事務局出席

- ・ 芦屋市社会福祉審議会
- ・ 芦屋市社会福祉審議会地域福祉部会
- ・ 芦屋市地域福祉推進協議会
- ・ 芦屋市市民参画協働推進会議
- ・ 生活困窮者自立支援推進協議会
- ・ 芦屋市障がい者差別解消支援地域協議会
- ・ 芦屋市自立支援協議会
- ・ 芦屋市要保護児童対策地域協議会 実務者会
- ・ 芦屋市消費者教育推進地域協議会
- ・ 芦屋市すこやか長寿プラン21評価委員会
- ・ 芦屋市地域包括支援センター運営協議会
- ・ 芦屋市地域密着型サービス運営協議会
- ・ 芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会

## ○その他関係会議への出席

- ・ 芦屋市民生児童委員協議会
- ・ 芦屋市介護サービス事業者連絡会
- ・ 芦屋市立みどり地域生活支援センター運営協議会

## ○社会福祉法人の社会貢献事業や公益的事業の推進

新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施

## ○情報発信の充実



事業名	内 容
社協だよりの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協だより編集委員会（社協理事、地区福祉委員会代表で構成）を開催し記事等内容の検討を行い、4月・7月・10月・1月の4回発行。</li> <li>・地域の実情の把握のため、地区福祉委員会や自治会等の協力によりポスティングによる全戸配布を行った。43,863部（7月号部数）</li> </ul>
ホームページの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員募集情報、その他事業活動の状況など情報発信</li> <li>・訪問看護係による介護予防のための動画配信</li> <li>・ホームページリニューアル</li> </ul>

## ○会員会費制のPR

種 別	1口金額（円）	会員数	会費金額（円）
普通会員	1,000	297	354,000
団体会員	3,000	54	168,000
賛助会員	1,000	2	6,000
特別会員	5口以上及び団体会員は1万円以上	30	320,000
合 計		343	848,000

※加入会員によって複数口数の加入あり

## ○寄附金受入

月日	金 額	氏 名（敬称略）
4月14日	5,000円	岡田 雅行
4月16日	35,400円	匿名
4月16日	10,000円	つどい場ゆう&みい
4月22日	100,000円	三上 邦江
4月28日	50,000円	岩本 康雄
6月1日	6,000円	岡本 敦子
6月25日	50,000円	たわしの輪
7月27日	10,000円	南宮町自治会・南寿会
10月29日	100,000円	NPO法人ワールドピース倶楽部
11月4日	15,000円	伊勢町高年クラブ
1月27日	20,000円	国際ソロプチミスト芦屋
2月4日	10,000円	K.N
2月4日	1,000,000円	匿名
合 計	1,411,400円	

○寄附物品等

- ・甲南高等学校よりタブレットの寄贈
- ・打出小槌町自主防災・防犯会よりレトルトカレーの寄付

8 共同募金運動



○共同募金運動の実施協力（令和3年10月1日～12月31日）

10月1日街頭募金へ社協理事 9名 参加

○共同募金実績

（単位：円）

		一般募金	歳末たすけあい募金	合計
目標額		8,000,000	1,500,000	9,500,000
実績額		7,182,784	1,119,904	8,302,688
内  訳	戸別募金	4,682,917	874,774	5,557,691
	法人募金	1,241,676	204,600	1,446,276
	街頭募金	242,679	24,361	267,040
	学校募金	329,277	0	329,277
	職域募金	253,452	14,768	268,220
	イベント募金	2,700	0	2,700
	個人募金	333,862	1,400	335,262
	その他	96,221	1	96,222
前年度繰越金		0	823,629	823,629

○共同募金運動期間延長の取り組み（令和4年1月1日～3月31日） 中止

○義援金の募集

令和2年7月豪雨災害義援金	1,606円
令和3年7月豪雨災害義援金	2,877円
令和3年7月豪雨災害活動サポート募金	660円

○歳末たすけあい運動

配分金額内訳

経済的支援世帯	14世帯	334,000
高齢者福祉施設団体等支援	8施設・団体	90,000
障がい者福祉施設団体等支援	9施設・団体	140,000
児童福祉施設団体等支援	6施設	60,000
ひとり親家庭支援	0	0
社会福祉活動団体等支援	1団体	20,000
合計		644,000